

2021 カリキュラム

2021 Curriculum

Business

ビジネス分野

IT&AI

IT・AI分野

Creative

クリエイティブ分野

Architecture&Engineering

建築・工学分野

International

国際分野

学校法人 日本コンピュータ学園

東北電子専門学校

▶ 本冊子について



本冊子は学科(コース)の授業内容を知っていただくための資料です。どのような科目をどのくらいの時間学ぶのかを知ることにより、授業内容を十分理解し、学科選択をスムーズに行っていただけるよう編集しています。

各ページには、授業内容のほか「1週間のタイムテーブル(時間割)のサンプル」、「めざせる資格一覧」を記載しておりますのであわせて参考にしてください。

▶ カリキュラムについて



※次表は例です

科 目 名	授業時数	単位数	内 容
パソコン基礎	171.0	6	パソコンの基礎知識について学び、J検合格をめざし…
簿記会計Ⅰ	142.5	5	簿記会計の基本を学習しながら、簿記検定(日商)3級にも対応して…
⋮	⋮	⋮	⋮

◇年次ごとの履修科目名と授業時数・単位数・内容が記載されています。

◇2021年度に予定しているカリキュラムです。

◇科目により半期で履修するものと、通年で履修するものがあります。

◇カリキュラムの内容は変更になることがあります。

▶ タイムテーブルについて



各ページに記載されているタイムテーブルは、週間の時間割の様子を知っていただくための例で、学科・コースにより異なります。

授業時間は1コマ70分、休み時間15分、昼休み60分となっています。なお、昼休みは、11:35～12:35と13:00～14:00の2パターンがあり、学科・コースにより異なります。

▶ めざせる資格一覧について



学科ごとにめざすことができる資格一覧を記載していますが、学生個々の資格取得状況により、記載以外の資格を受験することもできます。

▶ 共通選択科目について



全学科(コース)共通の選択科目があります。

下記の中から選択することができます。(必修科目ではありません)

科 目 名	授業時数	単位数	内 容
ボランティア活動	28.5	1	校内外におけるボランティア活動を行います。
CGアプリケーション入門	28.5	1	3次元CGの初歩的な制作方法を実習します。
英会話基礎	28.5	1	日常英会話の基礎を学びます。
コミュニケーションスキル講座	28.5	1	円滑な対人関係、組織の活性化、および、良いコミュニケーションに必要な「話す」「聞く」といった知識と能力を身につけます。
就職作文対策	28.5	1	就職試験で出題されることが比較的多い作文について、基本的な作成方法やコツなど、作文の基礎について学習します。

▶ 情報処理技術者試験対策 選択必修科目について



情報システム科、AIシステムエンジニア科、サイバーセキュリティ科、AIテクノロジーエンジニア科、高度ITエンジニア科の5学科は以下の選択必修科目があります。

情報処理技術者試験対策(Ⅱ、ⅢA、ⅢB、ⅣA、ⅣB)は受験区分(基本情報技術者、応用情報技術者、情報セキュリティマネジメント、データベーススペシャリスト、ネットワークスペシャリスト、情報処理安全確保支援士などの国家資格)に対応した科目を選択し、学習します。

※Microsoft Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

※OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります

INDEX

ビジネス分野

- ▶ 総合情報ビジネス科
ビジネスキャリアコース 2
ITビジネスコース 3

IT・AI 分野

- ▶ モバイルアプリケーション科 4
- ▶ 情報システム科 5
- ▶ AIシステムエンジニア科 6
- ▶ ネットワークシステム科 7
- ▶ サイバーセキュリティ科 8
- ▶ AIテクノロジーエンジニア科 9
- ▶ 高度ITエンジニア科(高度専門士4年制) 10

クリエイティブ分野

- ▶ ゲームクリエイター科 12
- ▶ ゲームエンジニア科 13
- ▶ CGクリエイター科 14
- ▶ Webクリエイター科 15
- ▶ デジタルデザイン科 16
- ▶ デジタルミュージック科 17
- ▶ 映像放送科 18
- ▶ 音響制作科 19

建築・工学分野

- ▶ 建築科
建築工学コース 20
CAD設計コース 21
- ▶ 建築大工技能科 22
- ▶ インテリア科 23
- ▶ 電気工事科 24
- ▶ 機械CAD設計科 25

国際分野

- ▶ 国際ビジネス科(留学生対象)
ビジネスコース 26
ITコース 27
教養コース 28

総合情報ビジネス科

▶ビジネスキャリアコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
販売知識	171.0	6	流通機構の概要や消費者の購買行動、応対技術など、リテールマーケティング（販売士）検定3級に対応して学びます。
簿記会計	228.0	8	簿記会計の基本を学習しながら、簿記検定（日商）3級に対応して学びます。
ビジネス実務	142.5	5	来客や電話対応、会議運営をはじめとしてビジネスマナーや一般常識、電話応対、レポートや企画書の書き方について学びます。
コンピュータ概論	28.5	1	パソコンの動作原理や基本単位などパソコンの基礎知識について学びます。
オフィスアプリケーションⅠ	199.5	7	より速く正確な入力ができるようタッチタイピングを練習します。また、見栄えの良い文書作成の方法を学びます。
ライセンス対策	171.0	6	表計算ソフト「Excel」の機能と基本操作を学び、マイクロソフトオフィススペシャリスト Excelの合格をめざします。
情報リテラシー	28.5	1	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
リテールマーケティング	114.0	4	販売に関する専門知識と売り場や店舗を管理・指導する能力を持てるレベルを目標とし、さらにネットビジネスの知識も学びます。目標資格としてリテールマーケティング（販売士）検定2級合格をめざします。
簿記演習	171.0	6	簿記検定（日商）の合格をめざし、模擬問題の演習などに力を入れ、さらに会計ソフトの操作技術を学びます。
オフィスアプリケーションⅡ	256.5	9	Wordを使用した実践的でかつ高度な文書作成や、プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の利用技術を幅広く学びます。
ビジネスデータ活用	114.0	4	データベースソフト「Access」の操作技術を学びます。また、Excelのデータベース機能、データ分析機能について学びます。
ビジネスプラン	57.0	2	これまで学んだマーケティングや簿記の知識を活かし、収支の計算も含めた新規ビジネスを考案します。また発表を通して表現力を養います。
プレゼンテーション	85.5	3	自ら企画を提案し、他人に要領よく伝え、行動するための表現技法について学びます。
Webデザイン	57.0	2	インターネットの幅広い知識とHTMLとCSSによるホームページの作成方法を学びます。
デジタルデザイン	57.0	2	Photoshop Elementsの操作技術を修得し、デザイン・表現方法を学びます。
RPA概論	28.5	1	RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の基礎を学び、基本的な操作を学びます。
ビジネス教養	28.5	1	ビジネス社会に必要な語彙力や論語、ペン字、マナーなど幅広い教養を学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	コンピュータ概論	ビジネス実務		簿記会計
2	10:25 11:35	販売知識	ライセンス対策	販売知識	販売知識
3	11:50 13:00	簿記会計	簿記会計	オフィス アプリケーションⅠ	就職対策Ⅰ オフィス アプリケーションⅠ
	12:35 13:45				
4	14:00 15:10	オフィス アプリケーションⅠ	簿記会計	ビジネス実務	ライセンス対策
5	15:25 16:35			情報リテラシー	

■めざせる資格■

- ▼日商簿記検定
- ▼リテールマーケティング(販売士) 検定
- ▼マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)
- ▼日本語ワープロ検定
- ▼文書デザイン検定
- ▼ビジネス実務マナー検定
- ▼サービス接客検定

総合情報ビジネス科

▶ITビジネスコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
IT概論	228.0	8	情報技術の基礎知識を学び、ITパスポート試験合格をめざします。
ライセンスマスターⅠ	171.0	6	表計算ソフト「Excel」のさまざまな関数や応用操作を学び、マイクロソフトオフィススペシャリスト Excelの合格をめざします。
オフィスアプリケーション	199.5	7	より速く正確な入力ができるようタッチタイピングを練習します。また、見栄えの良い文書作成の方法を学びます。
ビジネス実務	142.5	5	来客や電話対応、会議運営をはじめとしてビジネスマナーや一般常識、電話応対、レポートや企画書の書き方について学びます。
マーケティング	28.5	1	流通機構の概要や消費者の購買行動、応対技術など、マーケティングに関する基礎的な知識を学びます。
簿記会計	171.0	6	簿記会計の基本を学習しながら、簿記検定（日商）3級に対応して学びます。
情報リテラシー	28.5	1	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ライセンスマスターⅡ	228.0	8	PowerPoint、Accessをマイクロソフトオフィススペシャリストに対応して学びます。
インストラクション演習	57.0	2	パソコンの操作方法や知識を、人にわかりやすく、的確に伝えるための資料作成方法や表現技術を身に付けます。
データベース技術	85.5	3	リレーショナルデータベースの基本を学び、「Access」を使用してデータベースシステムの作成方法を学びます。
プレゼンテーション	142.5	5	自ら企画を提案し、他人に要領よく伝え、行動するための表現技法について学びます。また、プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の利用技術も学びます。
プログラミング技術	114.0	4	Java 言語を使用したプログラミング実習でプログラムの基礎知識を学習します。
Webデザイン応用	171.0	6	HTMLとCSSに加え、Javascriptを使った動きのあるWebサイト構築の方法を学びます。
デジタルデザイン	57.0	2	Photoshop Elementsの操作技術を修得し、デザイン・表現方法を学びます。
CAD基礎	57.0	2	設計の現場で多く使用されている製図用のソフトウェアを使って、製図の基本操作を学び、図面の書き方を修得します。
RPA概論	28.5	1	RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）の基礎を学び、基本的な操作を学びます。
ビジネス教養	28.5	1	ビジネス社会に必要な語彙力や論語、ペン字、マナーなど幅広い教養を学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10		簿記会計		ビジネス実務
2	10:25 ↓ 11:35	IT概論	マーケティング	ビジネス実務	簿記会計
3	11:50 ↓ 13:00	情報リテラシー	IT概論	ライセンス マスターⅠ	就職対策Ⅰ
	12:35 ↓ 13:45				
4	14:00 ↓ 15:10	簿記会計	オフィス アプリケーション	オフィス アプリケーション	IT概論
5	15:25 ↓ 16:35	オフィス アプリケーション	ライセンス マスターⅠ		

■めざせる資格■

- ▼ITパスポート
- ▼マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)
- ▼日商簿記検定
- ▼日本語ワープロ検定
- ▼文書デザイン検定
- ▼ビジネス実務マナー検定
- ▼Webクリエイター能力認定試験

モバイルアプリケーション科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。
プレゼンテーション	57.0	2	自らの考えをわかりやすく正確に伝えるためのプレゼンテーション技法とプレゼンテーション資料作成ツールであるPowerPointを学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
IT概論	114.0	4	情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・アルゴリズム・技術動向などを学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
データベース入門	57.0	2	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・AIとビッグデータの関連・SQLの基礎などを学びます。
ネットワークセキュリティ	57.0	2	ネットワークの役割や基礎知識・ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・IoTの基礎知識・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。加えてネットワークコマンドの基礎も学びます。
プログラミング言語Ⅰ	228.0	8	オブジェクト指向の基礎を学んだ後、PythonとJavaを学習します。加えて、Eclipseなどの開発ツールの操作について学びます。
WebプログラミングⅠ	114.0	4	PHPとXAMPPを使ってサーバーサイドプログラミングやクライアントとサーバの連動について学びます。
スマホアプリ開発Ⅰ	85.5	3	Android Studioを使ってAndroidアプリの開発手法を学びます。
Webコンテンツ	114.0	4	HTML5、CSS3、JavaScriptなどを使ってブラウザ向けのアプリケーション開発の基礎を学びます。
Linux概論	85.5	3	Linuxの一般ユーザレベルに求められるスキルを学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
スマホビジネス	114.0	4	Web、モバイルビジネスの全体像をマーケティングとディレクション（要件定義、企画、設計）の視点から学びます。
プログラミング言語Ⅱ	114.0	4	1年次のプログラミング言語Ⅰの学習をさらに発展させ、スマホアプリ開発に必要なプログラミング能力にさらに磨きをかけます。
WebプログラミングⅡ	171.0	6	1年次で学んだ内容をもとに、非同期通信やデータベースとの連動といった実践的なテーマに取り組みます。フレームワークの基礎も学びます。
スマホアプリ開発Ⅱ	171.0	6	Java、Kotlin言語を使ったAndroidアプリの開発をメインに学習します。1年次で学んだ基礎をもとに、高度な技術を使った、かつオリジナリティを追及した作品を作ります。Swift言語によるiOSアプリの開発手法も学びます。
RIAプログラミング	171.0	6	UnityやjQuery関連ライブラリなど、数種類のプログラミング言語によるグラフィックスプログラミングの学習を通して、リッチな画面や機能を実現するためのプログラミングをマスターします。
卒業研究	228.0	8	2年間の学習の総仕上げとして、グループ作業によるモバイルアプリの設計開発、ならびに成果発表を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	スマホアプリ開発Ⅱ	卒業研究	スマホビジネス	プログラミング言語Ⅱ
2	10:25 11:35	スマホアプリ開発Ⅱ	RIAプログラミング	スマホビジネス	プログラミング言語Ⅱ
3	11:50 13:00	就職対策Ⅱ	RIAプログラミング	スマホアプリ開発Ⅱ	WebプログラミングⅡ
4	14:00 15:10		WebプログラミングⅡ	RIAプログラミング	スマホビジネス
5	15:25 16:35		WebプログラミングⅡ		

■めざせる資格■

- ▼基本情報技術者
- ▼ITパスポート
- ▼Java™プログラミング能力認定試験
- ▼Webデザイナー検定
- ▼情報検定(J校)
- 情報システム試験
- 情報活用試験
- ▼ビジネス能力検定(B校) ジョブパス
- ▼マルチメディア検定

情報システム科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・IoTの基礎知識・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQL・AIとビッグデータの関連などの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される擬似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書（ドキュメント）、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
プレゼンテーション	114.0	4	自らの考えをわかりやすく正確に伝えるためのプレゼンテーション技法とプレゼンテーション資料作成のツールであるPowerPointを学びます。
プログラミング言語Ⅱ	57.0	2	Javaプログラミングを通してオブジェクト指向を学びます

■1年次総授業時数1140 (40単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
プログラミング言語Ⅲ	171.0	6	Windowsアプリケーションを作るためプログラミング言語C#を学びます。
プログラミング言語Ⅳ	171.0	6	Java言語を学びます。またプログラミングを通してオブジェクト指向を理解し、UMLでの表記も学びます。
Webアプリケーション	114.0	4	Webの基本であるHTML、CSSを修得し、Webサーバ、データベースを使用したWebプログラミングを学びます。また、AIサービスを活用したWebサイトを作成します。
データベース演習	85.5	3	データベースを構築し操作の基本を学びます。また実務をもとにデータを管理する方法を学びます。
システム開発演習	85.5	3	システム開発の工程、要件定義から設計、プログラム、テストまでを演習を通して学び、最後に成果発表します。
サーバ構築	114.0	4	Windows、Linuxの設定、管理、セキュリティなどを演習しながら学びます。またWebサーバなどの構築を学びます。
卒業研究	171.0	6	グループで業務をもとにシステムを考案します。システムに必要なサーバやデータベースの構築から始め、システムの設計、実装、テストなど開発全般を演習します。
情報処理技術者試験対策Ⅱ(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

(注)情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

■タイムテーブル例■

		月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10	プログラミング 言語Ⅲ	Web アプリケーション	プログラミング 言語Ⅲ	Web アプリケーション	プログラミング 言語Ⅲ
2	10:25 ↓ 11:35	サーバ構築	プログラミング 言語Ⅲ	プログラミング 言語Ⅳ	プログラミング 言語Ⅲ	プログラミング 言語Ⅲ
3	11:50 ↓ 13:00					
	12:35 ↓ 13:45	データベース演習	プログラミング 言語Ⅳ	データベース演習	プログラミング 言語Ⅳ	データベース演習
4	14:00 ↓ 15:10	就職対策Ⅱ		サーバ構築	就職対策Ⅱ	
5	15:25 ↓ 16:35					

■めざせる資格■

- ▼基本情報技術者
- ▼情報セキュリティマネジメント
- ▼応用情報技術者
- ▼ITパスポート
- ▼MTA(マイクロソフトテクノロジーズアソシエイト)
- ▼オラクルマスター(オラクル認定技術者)
- ▼CompTIA認定資格
- ▼情報検定(J検)
- 情報システム試験
- 情報活用試験

AIシステムエンジニア科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信機器・IoTの基礎知識・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQL・AIとビッグデータの関連などの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される選言言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学ぶ基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書(ドキュメント)、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
プログラミング言語Ⅱ	57.0	2	オブジェクト指向設計の概念とJava言語の基本を学びます。Javaプログラミング能力認定試験合格をめざします。
SQLⅠ	57.0	2	オラクルデータベースを使って、データベースシステムの操作技術の基本を学びます。ORACLE MASTER Bronzeの試験範囲をカバーします。
AI概論	57.0	2	人工知能(AI)について、概要・歴史などの基礎知識について学びます。また、機械学習やディープラーニングの概要・人工知能の応用範囲などについて、最新の技術動向も踏まえて学習します。

■1年次総授業時数1140 (40単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
プログラミング言語Ⅲ	285.0	10	Java言語でのプログラミングを学習し、Javaプログラミング能力認定試験、Java SE認定資格試験合格をめざします。
SQLⅡ	171.0	6	オラクルデータベースを使って、データベースシステムの実装技術の基本を学びます。ORACLE MASTER Bronzeの試験範囲をカバーします。
AIシステムⅠ	171.0	6	pythonをベースにAIを活用したプログラミングを学びます。
AIモデル開発	114.0	4	AI・IoTシステム開発において、近年特に注目されているモデルベース開発の概念と開発手法をMATLAB/simulinkを用いて学習します。
企業会計とビジネス	28.5	1	企業の情報システム構築に必要な、経営と会計の基礎および企業の仕組みを学びます。
システム開発Ⅰ	57.0	2	情報システムの設計を行う上で必要な知識を学習します。ドキュメントなどの成果物を作成し、レビューを行います。
Web開発技術	85.5	3	Web上で動く情報システムの基本的な構築と、簡単なWebシステムについて学びます。また、クラウドAIサービスなどよく利用される、JSONなどのファイルフォーマットについても学習します。
情報処理技術者試験対策Ⅱ(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

3 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅲ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
プレゼンテーション	57.0	2	プレゼンテーションを学びます。また、PowerPointなど資料作成ツールの操作を学びます。
プログラミング言語Ⅳ	85.5	3	C#を学びます。C#を使ったGUIプログラミングなどを作成します。
AIシステムⅡ	228.0	8	クラウドAIサービスなどのAIの機能、既存のアプリケーションに組み込む、AIシステムの開発について学習します。WebベースのAI活用システムを開発します。
リッチクライアント	28.5	1	データベースやIoTデータを分析するアプリケーションの使い方について学習します。集計データの表示やグラフ化の方法なども学習します。
卒業研究	228.0	8	総合実習として、学んできた言語・開発技法・ツールを活用し、グループでアプリケーションを作成します。
情報処理技術者試験対策ⅢA(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅢB(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
選択必修科目	228.0	8	各自の希望によりAIまたはシステム開発を深く学習します。

■3年次総授業時数1026 (36単位)

(注)情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

選択必修科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
AI画像処理	57.0	2	デジタル化された画像データのモデル化やデータ解析によるパターン認識などの方法を学びます。より深くAIを学習します。
IoT技術	171.0	6	IoTシステムの概要、データの収集方法、収集したデータの加工について学びます。より深くAIを学習します。
データベース管理	57.0	2	データベースの管理者に必要な管理技法を学び、各種データベースでの操作を体験します。より深くシステム開発を学習します。
システム開発Ⅱ	171.0	6	業務システムの分析から設計、開発、テストまで一連の開発を行います。WebAPIの開発も行います。より深くシステム開発を学習します。

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 10:25 11:35	プログラミング言語Ⅱ AIモデル開発			
2	11:50 13:00 13:35 14:45	プログラミング言語Ⅲ AIモデル開発	AIモデル開発	プログラミング言語Ⅲ	
3	15:00 16:10	AIシステムⅠ 企業会計とビジネス	AIモデル開発	AIシステムⅠ	AIシステムⅠ
4	17:25 18:35		システム開発Ⅰ	SQLⅡ	SQLⅡ
5	19:50 21:00		システム開発Ⅰ	SQLⅡ	SQLⅡ

■めざせる資格■

- ▼基本情報技術者
- ▼情報セキュリティマネジメント
- ▼応用情報技術者
- ▼データベーススペシャリスト
- ▼ITパスポート
- ▼情報検定(J検)
- ▼情報システム試験
- ▼情報活用試験
- ▼オラクルマスター(オラクル認定技術者)
- ▼Java SE認定資格(旧OCJ-P)
- ▼Java™プログラミング能力認定試験
- ▼ジェネラリスト検定(G検定)
- ▼IoT検定
- ▼画像処理エンジニア検定

ネットワークシステム科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・IoTの基礎知識・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQL・AIとビッグデータの関連などの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される擬似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティ、AI・RPAの概要について学びます。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書（ドキュメント）テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動をしていくにあたって必要な基礎知識と、基本情報技術者試験で出題される数学（線形代数・確率統計など基礎数学など）を幅広く学びます。
ルータ構築Ⅰ	171.0	6	CCNA取得に必要なネットワーク基礎知識を学習します。

■1年次総授業時数1140（40単位）

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
プログラミング言語Ⅱ	114.0	4	Web開発言語を使用し、ネットワークプログラムの作成方法を学びます。
プレゼンテーション技術	28.5	1	プレゼンテーション技術や論文の作成方法を学びます。
ルータ構築Ⅱ	256.5	9	CCNA取得に必要なルータ、スイッチの操作方法や各種設定の基本を学習します。
サーバ構築Ⅰ	114.0	4	Windowsサーバやセキュリティシステムの構築、管理メンテナンス方法を学びます。
ルータ構築Ⅲ	142.5	5	CCNA取得に必要な小〜中規模ネットワークを構築するための考え方やルータ、スイッチの操作方法について学びます。
サーバ構築Ⅱ	114.0	4	Linuxサーバの構築、管理メンテナンス方法を学びます。
情報セキュリティ	114.0	4	ITセキュリティを支える基礎技術（暗号化とアルゴリズム、署名、デジタル証明書、公開鍵基盤など）の仕組みを学びます。
卒業研究	85.5	3	セキュリティを考慮したネットワーク構築、IoTやAIを意識したシステム構築、クラウドを利用したシステム構築などの総合実習を行います。

■2年次総授業時数1026（36単位）

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10 プログラミング 言語Ⅱ	サーバ構築Ⅰ	ルータ構築Ⅱ	プログラミング 言語Ⅱ	ルータ構築Ⅱ
2	10:25 ↓ 11:35 ルータ構築Ⅱ	ルータ構築Ⅱ	サーバ構築Ⅰ	サーバ構築Ⅰ	ルータ構築Ⅱ
3	11:50 ↓ 13:00 ルータ構築Ⅱ	ルータ構築Ⅱ	サーバ構築Ⅰ	ルータ構築Ⅱ	ルータ構築Ⅱ
	12:35 ↓ 13:45				
4	14:00 ↓ 15:10 就職対策Ⅱ	プレゼンテーション 技術			
5	15:25 ↓ 16:35	就職対策Ⅱ			

■めざせる資格■

- ▼基本情報技術者
- ▼情報セキュリティマネジメント
- ▼情報処理安全確保支援士試験
- ▼ITパスポート
- ▼情報検定（J検）
- 情報システム試験
- 情報活用試験
- ▼CCNA（シスコ技術者認定）
- ▼CompTIA認定資格
- ▼MCSA（マイクロソフト認定ソリューション アソシエイト）
- ▼Linux（Linux技術者認定試験）
- ▼SEA/J情報セキュリティ技術認定

サイバーセキュリティ科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・IoTの基礎知識・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQL・AIとビッグデータの関連などの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される類似問題やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書(ドキュメント)、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業開通法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
AI概論	57.0	2	人工知能(AI)について、歴史などの基礎知識について学びます。また、機械学習やディープラーニングの概要・人工知能の応用範囲などについて、最新の技術動向も踏まえて学習します。
ルータ構築Ⅰ	114.0	4	CCNA取得に必要な中規模ネットワークを構築するための考え方やルータ、スイッチの概要について学びます。

■1年次総授業時数1140(40単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。
社会人基礎力	57.0	2	社会人として自立するために必要な「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
Linux	171.0	6	Linuxサーバの運用管理、各種サーバの設定方法について学びます。
ルータ構築Ⅱ	285.0	10	CCNA 資格取得に必要な中規模ネットワークのネットワークの導入、設定、運用、トラブルシューティングに関する知識とスキルについて学びます。
プログラミング言語Ⅱ	114.0	4	Pythonの特徴を知り、Pythonの基本文法から関数の利用までの基礎分野を習得します。
情報セキュリティⅠ	114.0	4	「SEA/J認定試験」に対応したSEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、セキュリティの基礎を学びます。
情報セキュリティⅡ	57.0	2	「SEA/J認定試験」に対応したSEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、情報セキュリティマネジメント・リスク分析の考え方や、情報セキュリティポリシー策定の基本、対策計画を立てるために必要な知識を学びます。
サイバーセキュリティ	114.0	4	サイバー攻撃の現状とセキュリティログ分析がどのように役立つかを理解し、分析結果を活用するための知識と機械学習による異常検知について学びます。
情報処理技術者試験対策Ⅱ(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026(36単位)

3 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅲ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
情報セキュリティⅢ	114.0	4	「SEA/J認定試験」に対応した、SEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、ファイアウォール、侵入検知システム、VPNなどのアクセスコントロールや機密性確保に必要な知識を学び、実際にシステムの構築を仮想環境で行います。
プラットフォームセキュリティ	114.0	4	セキュリティオペレーションセンター(SOC)で必要となるサイバー攻撃の分析技法や対応方法を学びます。
プロジェクト管理	171.0	6	ネットワークセキュリティ科主催イベントの「N-1コンテスト(ネットワーク構築スキルコンテスト)」の企画を通じて、ドキュメントの作成手法、ネットワークやサーバの検証やトラブル対応手順を学びます。
クラウドコンピューティング	114.0	4	クラウド環境の構築(サーバ、ストレージ、ネットワークの仮想化)と認証技術(無難、アカウント管理の連携)の検証およびクラウドセキュリティに関する設定を行い、クラウド環境のトラブル対応を学びます。
インシデントレスポンス	114.0	4	セキュリティインシデントに対する「事前対応」と「事後対応」の流れを理解し、CSIRT 要員としてインシデントレスポンスの対応手順を学びます。
プレゼンテーション技術	57.0	2	プレゼンテーション技法を学びます。また、パワーポイント等の資料作成ツールの操作を学びます。
卒業研究	171.0	6	各自がITインフラに関わるネットワーク、サーバ、ストレージ、セキュリティ、仮想化、AI、IoTに関する研究目標を設定し、研究計画を構築し、検証を行い、まとめとして成果発表を行います。
情報処理技術者試験対策ⅢA(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅢB(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■3年次総授業時数1026(36単位)

(注)情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10 サイバー セキュリティ	ルータ構築Ⅱ	社会人基礎力	ルータ構築Ⅱ	Linux
2	10:25 11:35 サイバー セキュリティ	ルータ構築Ⅱ	ルータ構築Ⅱ	ルータ構築Ⅱ	Linux
3	11:50 13:00 情報セキュリティⅠ	情報セキュリティⅠ	情報セキュリティⅠ	情報セキュリティⅠ	Linux
	12:35 13:45				
4	14:00 15:10 プログラミング 言語Ⅱ		就職対策Ⅱ	プログラミング 言語Ⅱ	
5	15:25 16:35				

■めざせる資格■

- ▼基本情報技術者
- ▼情報セキュリティマネジメント
- ▼ITパスポート
- ▼ネットワークスペシャリスト
- ▼情報処理安全確保支援士
- ▼CompTIA認定資格
- ▼CCNA(シスコ技術者認定)
- ▼情報検定(J検)
- 情報システム試験
- 情報活用試験
- ▼SEA/J情報セキュリティ技術認定

AIテクノロジーエンジニア科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・IoTの基礎知識・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQL・AIとビッグデータの関連などの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される疑似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書(ドキュメント)、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
構造工学概論	114.0	4	制御機器はどうして動くのか、その構造や装置に関する基礎知識と技術革新を自動車に例に学びます。
AI概論	57.0	2	人工知能(AI)について、概要・歴史などの基礎知識について学びます。また、機械学習やディープラーニングの概要・人工知能の応用範囲などについて、最新の技術動向も踏まえて学習します。

■1年次総授業時数1140(40単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅱ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。
英語Ⅰ	57.0	2	英文マニュアルや簡単な英語の文献が読める程度の読解力を養います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
プログラミング技術Ⅰ	114.0	4	IoTやAIに欠かせないC言語とPythonを、基礎から演習を通して学びます。
AI応用システム	171.0	6	AIシステムを応用した実習機器を使用して、その内容を具体的に学びます。
デジタル回路	114.0	4	最新のデジタル回路設計を基本論理から応用手法であるHDLまでを、実習を交えて応用的に学習していきます。
IoT技術	171.0	6	IoTシステムに必要なマイコンによる機器制御を各要素技術を基に活用する技術を学習します。
エレクトロニクス	114.0	4	IoTシステムに欠かせない電気に関する一般的な知識の修得を実験を行いながら学びます。
IoTネットワーク概論	85.5	3	信頼性が高く多くの機器に必要なIoTネットワークを実現するプロトコルや実装技術を学びます。
ROS	85.5	3	IoTシステムのOSとして必要なROSを、マイコンボードと実機を例とし実習を通して学習します。
情報処理技術者試験対策Ⅱ(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026(36単位)

3 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
就職対策Ⅲ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。
英語Ⅱ	57.0	2	基礎的な英語の知識に、専門的な用語も踏まえ簡単な小論文を記述出来る知識を学習します。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内容
プログラミング技術Ⅱ	228.0	8	オブジェクト指向言語のJavaやpythonをベースに高度なアプリケーションプログラミングを学びます。
AI応用開発	114.0	4	AIシステムの応用に関する開発技術を、IoTマイコンとFPGAの連携システムを例に活用まで幅広く学習し、その後テーマを決めて卒業研究へとつないで学習します。
AI画像処理	57.0	2	デジタル化された画像データのモデル化やデータ解析によるパターン認識などの方法を学びます。
モデルベース開発	114.0	4	AI・IoTシステム開発において、近年特に注目されているモデルベース開発の概念と開発手法をMATLAB/simulinkを用いて学習します。
3次元CAD	57.0	2	IoTシステム開発プロセスにおいて、設計・性能評価で活用されている3D-CADの基本的な操作を学習します。
卒業研究	228.0	8	これまでの学習を基礎に先進的な課題をテーマに研究し、最後にその成果を発表します。
情報処理技術者試験対策ⅢA(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅢB(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■3年次総授業時数1026(36単位)

(注)情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	8:00 10:10 プログラミング 技術Ⅰ	AI応用システム	AI応用システム	就職対策Ⅱ	エレクトロニクス
2	10:25 11:35 プログラミング 技術Ⅰ	ROS	デジタル回路	AI応用システム	エレクトロニクス
3	11:50 13:00 英語Ⅰ	IoT技術	デジタル回路	ROS	ROS
4	14:00 15:10 エレクトロニクス		IoT技術	エレクトロニクス	
5	15:25 16:35				

■めざせる資格■

- ▼ジェネラリスト検定(G検定)
- ▼ETEC(組込みソフトウェア技術者)
- ▼画像処理エンジニア検定
- ▼エネルギーマネジメントアドバイザー
- ▼基本情報技術者
- ▼情報セキュリティマネジメント
- ▼応用情報技術者
- ▼情報検定(J検)
- 情報システム試験
- 情報活用試験

高度ITエンジニア科 (高度専門士4年制)

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ハードウェア概論	171.0	6	コンピュータの動作原理やデータ表現・情報の基礎理論・ハードウェアの基礎理論・インタフェース・技術動向などを学びます。
ネットワーク技術基礎	85.5	3	ネットワークの役割や基礎知識、ローカルエリアネットワーク・通信規約・通信機器・IoTの基礎知識・セキュリティの基礎知識・関連法規などを学びます。
データベース技術基礎	85.5	3	データベースの基礎理論やデータベース管理システムの役割・障害対策・SQL・AIとビッグデータの関連などの基礎知識を学びます。
アルゴリズム	114.0	4	プログラムの処理手順を表現する流れ図の書き方を学び、論理的思考能力やトレース能力の向上を図ります。基本情報技術者試験で出題される擬似言語やデータ構造についても学びます。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	基本情報技術者試験対策としてプログラミング言語を学び基本的なアルゴリズムがどのように実装されるかを学習します。
システム開発概論	142.5	5	システム開発の工程や各工程での作業内容、システム開発技法、各種設計書（ドキュメント）、テスト技法に関する基礎知識と、OSの機能概要やソフトウェアに関する基礎知識を学びます。
情報化の基礎	114.0	4	経営戦略・企業関連法規・経営科学・プロジェクトマネジメント・システム監査など、企業活動に必要な基礎知識を幅広く学びます。
情報リテラシー	57.0	2	パソコンの基本操作からOfficeソフトの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
オブジェクト指向技術	57.0	2	オブジェクト指向設計の概念とJava言語の基本を学びます。
WebデザインⅠ	57.0	2	画像ソフト操作方法を修得しWebページの素材を加工・作成します。
AI概論	57.0	2	人工知能（AI）について、概要・歴史などの基礎知識について学びます。また、機械学習やディープラーニングの概要・人工知能の応用範囲などについて、最新の技術動向も踏まえて学習します。

■1年次総授業時数1140 (40単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	28.5	1	IT業界で多く実施される、SPI、CAB、GAB、内田クレベリンなどの演習を行い就職試験に備えます。
実用英語Ⅰ	57.0	2	英文マニュアルや簡単な文献が読める程度の読解力を養います。
プレゼンテーション	57.0	2	自らの考えをわかりやすく正確に伝えるためのプレゼンテーション技法とプレゼンテーション資料作成ツールであるPowerPointを学びます。
ビジネス文書	28.5	1	さまざまなビジネスシーンで用いられる文例を通してビジネス文書の作成に必要な知識を身に着けます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
OS概論	85.5	3	Windowsを中心にオペレーティングシステムの基礎を学びます。
SQL	171.0	6	関係データベースを操作する言語「SQL」について学びます。
プログラミング言語Ⅱ	228.0	8	Java言語について基礎から応用までじっくりと学びます。オラクル認定Javaプログラマの試験範囲を学修します。
Linux	57.0	2	Linux技術者にとって必要な基礎レベルのコマンドやファイルシステムについて学びます。
情報セキュリティⅠ	85.5	3	SEA/Jアカデミーカリキュラムをもとに、セキュリティ基礎およびセキュリティマネジメントを学びます。
UML	57.0	2	標準化されたモデリング言語であるUMLを学びます。
WebデザインⅡ	85.5	3	HTML5・CSSなどを活用してWebページのデザインを学びます。
企業会計とビジネス	28.5	1	企業システムの構築に必要な、経営と会計の基礎および企業の仕組みを学びます。
情報処理技術者試験対策Ⅱ(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

3 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
社会人基礎力	28.5	1	社会人として自立するのに必要な「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を修得します。
就職対策Ⅲ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。
実用英語Ⅱ	57.0	2	ビジネスシーンで活用できる会話能力を身に付けます。
労働法規・企業倫理	28.5	1	社会人として必要な労働基準法などの法律や企業倫理を学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
Webアプリケーション	114.0	4	ブラウザ、Webサーバ、データベースを使ったWebプログラミングの基礎を学びます。
データベース設計	57.0	2	データベースシステムの設計理論を学びます。
プロジェクトマネジメント	57.0	2	プロジェクトマネージャとして必要なマネジメントスキル、リーダーシップ、ネゴシエーション、ロジカルシンキングなどを学びます。
プログラミング言語Ⅲ	114.0	4	C#を使用したアプリの作成方法を学びます。
情報セキュリティⅡ	85.5	3	SEA/Jアカデミーカリキュラムを使用し、ネットワークセキュリティのマネジメントを学びます。
システム開発演習Ⅰ	57.0	2	チームを組んで、データベースを活用した小規模なシステムを構築します。
サーバ構築	57.0	2	サーバを構築するために必要な知識・技術を学びます。
IoTセンサ・データ技術	57.0	2	IoTデバイスを用いて、センサから取得したデータを活用する仕組みを学習します。
クラウド技術基礎	57.0	2	クラウド開発の特徴と基礎的な仕組みを学びます。
統計の基礎	85.5	3	AIを学習する上で必要となる統計の基礎を学びます。
情報処理技術者試験対策ⅢA(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅢB(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■3年次総授業時数1026 (36単位)

4 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅳ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
チーム開発技法	171.0	6	フレームワーク、バージョン管理等のツールを使った、近年のチーム開発に必要な技術を学修します。
プログラミング言語Ⅳ	114.0	4	Ruby等の言語を用いたデータベースと連携したWebプログラミングを学びます。
人工知能技術	57.0	2	機械学習の仕組みを学び、人工知能を実装する技術を習得します。
テスト理論	114.0	4	テスト条件やテストケースの作り方などを学びます。また自動テストプログラムを作成するために必要な技術を習得します。
ディープラーニング	57.0	2	CNN、RNNを中心としたディープラーニング技術の特徴及び使い方を学習します。
卒業制作	342.0	12	4年間の集大成として、プロジェクトを組みシステム開発を行います。また、卒業制作展で発表します。
情報処理技術者試験対策ⅣA(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。
情報処理技術者試験対策ⅣB(注)	57.0	2	受験区分ごとに対策クラスを編成し、情報処理技術者試験の出題範囲を学習します。対策期間中に適宜模擬試験を実施し、実力の確認と養成を行います。

■4年次総授業時数1026 (36単位)

(注)情報処理技術者試験対策については、表紙裏の【情報処理技術者試験対策 選択必修科目について】をご覧ください。

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10	OS概論	SQL	OS概論	プログラミング 言語Ⅱ
2	10:25 ↓ 11:35	情報セキュリティⅠ	SQL	情報セキュリティⅠ	SQL
3	11:50 ↓ 13:00				
	12:35 ↓ 13:45	実用英語Ⅰ	Linux	OS概論	Linux
4	14:00 ↓ 15:10	Linux	プログラミング 言語Ⅱ		プログラミング 言語Ⅱ
5	15:25 ↓ 16:35				

■めざせる資格■

- ▼オラクルマスター(オラクル認定技術者)
- ▼Java SE認定資格(旧OCJ-P)
- ▼LPIC(Linux技術者認定)
- ▼基本情報技術者
- ▼応用情報技術者
- ▼データベーススペシャリスト
- ▼情報処理安全確保支援士
- ▼ITパスポート
- ▼情報セキュリティマネジメント
- ▼SEA/J情報セキュリティ技術認定試験
- ▼情報検定(J検)
- 情報システム試験
- 情報活用試験

ゲームクリエイター科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
CGアプリケーション基礎	114.0	4	ゲーム業界で実際に使われているソフトを使って、2D・3DのCG制作技術を学びます。
ゲーム制作Ⅰ	142.5	5	ITの知識やプログラムの基礎など、ゲーム業界を目指す人は全員身につけておくべきことを勉強し、ゲームエンジン「Unity」を使った簡単なゲーム制作を行います。
ゲームデザイン	57.0	2	ゲーム業界の歴史や最新情報を知ることやどのような人材が求められているか、また、今後の業界動向などを学びます。
UIデザイン	57.0	2	ボタンやアイコンの描き方や、代表的なガイドラインの知識等を身につけ、ストレス無く遊べるゲームのデザインについて考えていきます。
ゲームグラフィックス	57.0	2	キャラクターのデザイン・ポーズ等について学び、ポーズやレイアウトなどの知識も身につけます。
プレゼンテーション	28.5	1	PowerPointの操作方法を学び、様々なジャンルに合わせた実践的な作品表現とプレゼンテーションを学びます。
選択必修科目Ⅰ	513.0	18	各自の希望により「ゲーム開発専攻」か「ゲームCG専攻」を選択します。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

選択必修科目Ⅰ▼ ゲーム開発専攻

科目名	授業時数	単位数	内 容
ゲームプランニングⅠ	199.5	7	ターゲットの選定、コンセプトの立案、アイデアの発想など、ゲーム開発の最初に必要となる「企画書」を作るまでの総合的な知識・技術を身につけます。
ゲームプログラミングⅠ	114.0	4	実際のゲーム開発の際にプログラマーにも適切な指示が出せるようプログラムの勉強をします。自分が考えた企画をパソコン上で動かすための技術を基礎から学びます。
シナリオ	57.0	2	シナリオの構成、記述形式など基本的な書き方を学び、実際にシナリオの作成を行います。また既存の作品分析を行い、世界観の設定やキャラクター設定、選択肢のポイントなども学びます。
マーケティング	57.0	2	スマホゲームのマネタイズや、市場の調査、製品ライフサイクルやブランド知識などを学びます。
CG制作	57.0	2	企画書やプレゼンテーション資料に載せるための画像作成や、実際にゲームで使用できる3Dモデルの作成方法を学びます。
ゲーム数学	28.5	1	ベクトル、行列、三角関数などゲーム開発に必要な数学および物理を学びます。

選択必修科目Ⅰ▼ ゲームCG専攻

科目名	授業時数	単位数	内 容
CGデザイン実習Ⅰ	199.5	7	ローポリキャラ、テクスチャ、アニメーション、エフェクトなど、ゲームCGデザイナーとして必要なテクニックを習得します。
デッサンⅠ	171.0	6	図材の使い方からデッサンの基礎を学びます。シンプルなモチーフから始め、光と影や質感を意識し観察力を養います。
ポートフォリオ制作Ⅰ	85.5	3	就職活動で必要となるポートフォリオ（作品集）制作のため、「Illustrator」などのツールの使い方やレイアウトの基礎を学びます。
デザイン論	57.0	2	色彩デザイン、質感、構成を学び、作品にオリジナリティを発揮できるようにし、色彩士検定の取得をめざします。

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受検企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ゲーム制作Ⅱ	114.0	4	最新のコンシューマゲームの開発に多く用いられる「Unreal Engine」を使ったゲーム開発を行います。
コンテンツ制作	85.5	3	ゲームのPVなどを作成する映像制作や、ゲーム以外のコンテンツを作成する技術を学びます。
卒業制作	399.0	14	ゲームクリエイター科とゲームエンジニア科の合同でチームを編成し、より実践的なゲーム開発を学びます。完成した作品は卒業制作展で展示します。
選択必修科目Ⅱ	370.5	13	1年次に引き続き「ゲーム開発専攻」か「ゲームCG専攻」を選択します。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

選択必修科目Ⅱ▼ ゲーム開発専攻

科目名	授業時数	単位数	内 容
ゲームプランニングⅡ	114.0	4	ゲームの設計図となる仕様書の作り方やスケジュール管理法を学び、ゲームディレクター（チームリーダー）として開発を進めていくための能力を身につけます。
ゲームプログラミングⅡ	85.5	3	オブジェクト指向プログラミングや3Dプログラミングを学習し、ゲームを複数人で作る技術を身につけます。
英語	57.0	2	海外サイトにしか載っていない最新の情報を調べたり、外国人スタッフともコミュニケーションが取れるようになるために、英語を基礎から学習します。
ゲーム技術研究	114.0	4	ゲームに関する最新の技術や、話題になっている技術から、自分でテーマを決めて研究します。

選択必修科目Ⅱ▼ ゲームCG専攻

科目名	授業時数	単位数	内 容
CGデザイン実習Ⅱ	142.5	5	業界で通用するクオリティを目指して、より実践的なテクニックを身につけます。
ポートフォリオ制作Ⅱ	57.0	2	企業研究をしながら自分の強みをアピールできる作品集を制作します。
デッサンⅡ	57.0	2	立体や空間の表現、描写方法の幅を広げて、ポートフォリオ用の作品として適用するクオリティをめざします。
ビジネスアプリケーション	114.0	4	ExcelやWordなど、ビジネスに必須となるアプリケーションを習得します。

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10				就職対策Ⅱ
2	10:25 11:35	[開発]ゲームプランニングⅡ [CG]CGデザイン実習Ⅱ	ゲーム制作Ⅱ	[開発]ゲームプランニングⅡ [CG]ポートフォリオ制作Ⅱ	[開発]ゲームプログラミングⅡ [CG]CGデザイン実習Ⅱ
3	11:50 13:00	コンテンツ制作	ゲーム制作Ⅱ	コンテンツ制作	コンテンツ制作
	12:35 13:45				
4	14:00 15:10	[開発]ゲームプランニングⅡ [CG]デッサンⅡ	[開発]ゲームプログラミングⅡ [CG]CGデザイン実習Ⅱ	ゲーム制作Ⅱ	[開発]ゲームプログラミングⅡ [CG]ポートフォリオ制作Ⅱ
5	15:25 16:35	[開発]英語 [CG]デッサンⅡ	就職対策Ⅱ	ゲーム制作Ⅱ	

■めざせる資格■

- ▼CGエンジニア検定
- ▼色彩士検定(カラーマスター)

※「開発」はゲーム開発専攻、「CG」はゲームCG専攻です。

ゲームエンジニア科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
コンピュータ概論	142.5	5	ハードウェア、コンピュータシステム、ネットワークなどの基礎を幅広く学びます。
ゲームアルゴリズム	57.0	2	図式化などを利用し、ゲームプログラミングに必要なアルゴリズムを学びます。
ゲームプログラミングⅠ	285.0	10	C言語、C++言語などの基本的な文法から、Windowsプログラミングやグラフィック描画、入力制御などゲームプログラミングに必要な技術を学びます。
ゲーム数学	57.0	2	ベクトル、行列、三角関数などゲーム開発に必要な数学および物理を学びます。
ゲームグラフィックス	57.0	2	2DCGツール(Photoshop)や3DCGツール(Maya)を利用し、モデリングやテクスチャマッピングを学びます。
CG概論	57.0	2	ゲームプログラミングに必要な画像処理を中心に、CG理論、2D、3Dの基礎を学びます。
Linux演習Ⅰ	114.0	4	Linuxの基礎知識とコマンドを使った操作方法を学びます。
データベース演習	57.0	2	データベースの必要性と活用事例、SQLによるデータ操作方法、データベース構築方法を学びます。
ゲームプランニング	28.5	1	アイデア発想からコンセプトの立案・企画書作成・仕様書作成方法まで総合的に学びます。また、設計における検討事項、ならびにプロジェクト運用・管理の手法・問題点の解決法などの開発進捗に対する取り組み方についても学びます。
UIデザイン	28.5	1	UIに関する基礎知識と定義から基本構築法を学びます。
ゲーム制作Ⅰ	85.5	3	DirectXを利用した3Dゲーム開発の基本を学びます。

■1年次総授業時数1026(36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	一般常識や適性試験対策学習を継続しながら、エントリーシートや履歴書を完成させ、就職活動の準備を整えます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ゲームプログラミングⅡ	142.5	5	C++・DirectXを使いオブジェクト指向に沿ったゲーム開発用フレームワークの作成手法を学びます。
シェーダプログラミング	142.5	5	光の反射や陰影をつけるためのシェーダプログラムを学習し、リアルな映像を映し出す技術を身に付けます。
AIシミュレーション	57.0	2	代表的なアルゴリズムの経路探索・空間分割・戦術・集団アルゴリズム、AIシミュレーションなどを学びます。
ツール開発	85.5	3	ゲーム開発に必要なツール(マップエディタなど)を開発する方法を学びます。
ネットワーク基礎	57.0	2	オンラインゲーム制作に必要なTCP/IPの各プロトコルの基礎を学びます。
ネットワークプログラミング	57.0	2	ソケットを利用した通信プログラムの作成方法を学びます。
ゲームデザイン	57.0	2	ゲーム業界の歴史や最新情報を知ることでのような人材を求めているが、また、今後の業界動向などを学びます。
Javaプログラミング	57.0	2	Java言語について基礎から応用まで学び、Javaプログラミング能力検定試験の取得をめざします。
Linux演習Ⅱ	85.5	3	Linuxを使ったサーバ構築と運営の方法を学びます。
プログラムデザイン	57.0	2	オブジェクト指向における再利用のためのデザインパターン(GoF)を学びます。
ゲーム制作Ⅱ	171.0	6	ゲーム業界に就職するための作品制作を行います。また、Unityを利用したゲーム開発の実習も行います。

■2年次総授業時数1026(36単位)

3 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅲ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就職活動のトレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
スマートフォンアプリ開発	85.5	3	スマートフォンやタブレットなどで動作するゲームの制作方法を学びます。
サーバプログラミング	114.0	4	ソケットプログラミング・サーバサイドプログラミングの実習を行いサーバプログラマに必要な技術を学びます
プレゼンテーション	57.0	2	ゲーム企画やプログラム作品を題材にプレゼンテーション技法を学びます。また、コミュニケーション(TPO、立場理解、話し方、共感)・ネゴシエーション(交渉方法、ニーズ把握)をポイントに学びます。
ゲームサウンド	28.5	1	ゲーム効果音やBGMなどのゲームサウンド作成の基礎を学びます。
応用ゲーム技術	114.0	4	GPS、センサなどを取り入れたゲーム開発の方法を学びます。
ゲーム制作Ⅲ	171.0	6	就職およびコンテストやイベント出展用の作品制作を行います。また、Unreal Engineを利用したゲーム開発の実習も行います。
卒業制作	399.0	14	ゲームクリエイター科とゲームエンジニア科の合同でチームを編成し、より実践的なゲーム開発を学びます。完成した作品は卒業制作展で展示します。

■3年次総授業時数1026(36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	8:00 10:10 スマートフォン アプリ開発				ゲーム制作Ⅲ
2	10:25 11:35 サーバ プログラミング	スマートフォン アプリ開発	ゲーム制作Ⅲ	スマートフォン アプリ開発	ゲームサウンド
3	11:50 13:00 サーバ プログラミング	サーバ プログラミング	サーバ プログラミング	サーバ プログラミング	応用ゲーム技術
4	14:00 15:10 ゲーム制作Ⅲ	ゲーム制作Ⅲ	応用ゲーム技術	ゲーム制作Ⅲ	
5	15:25 16:35 ゲーム制作Ⅲ	ゲーム制作Ⅲ	就職対策Ⅲ	就職対策Ⅲ	

■めざせる資格■

- ▼基本情報技術者
- ▼C言語プログラミング能力認定試験
- ▼Java™プログラミング能力認定試験
- ▼CGエンジニア検定

CGクリエイター科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により選職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
CG制作基礎実習Ⅰ	142.5	5	3DCG制作ソフトである3dsMaxの基本操作を学習し、CG制作の基礎を学びます。
CG制作基礎実習Ⅱ	142.5	5	CG制作基礎実習Ⅰで修得したことを元に、より実践力を身につけます。
グラフィックツール実習	114.0	4	写真の加工やレイアウトなどPhotoshopやIllustratorの学習を通してデザインの基礎技術を身につけます。
デッサン	114.0	4	石膏像やさまざまな材質のものをモチーフにして、素材に対する観察力や描写力を育成します。
色彩演習	57.0	2	クリエイターに必要な色彩の知識を実習を通して学びます。色彩士検定合格をめざします。
放送機器技術	57.0	2	撮影の基礎やビデオ編集の基礎など実写映像制作の知識や技術を学びます。
DTV	114.0	4	ノンリニア編集を学習し、CG映像や実写映像の編集加工を行う技術を学びます。
CG概論	142.5	5	CGに関する基本的な知識を修得し、CGクリエイター検定合格をめざします。
マルチメディア基礎	57.0	2	マルチメディアとは、文字、映像、音楽などコンピュータで扱えるすべての情報のことで、それを使い何ができるのか、利用するためにはどのような機器が必要かなど基本を学びます。マルチメディア検定合格をめざします。
コンピュータ基礎	28.5	1	コンピュータの基礎的操作やWord、Excelの基本操作、応用について学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受検企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
CG制作実習	171.0	6	1年次に学習した内容を踏まえて、高度な3DCG映像制作に必要な技術、知識を学びます。
卒業制作	285.0	10	グループまたは個人で2年間の集大成となる、CG作品を制作します。
CGプレゼンテーション実習	57.0	2	自分の企画や作品をわかりやすく説明するためのプレゼンテーション法を身につけます。
デザイン実習	114.0	4	デッサンやイラストレーションを通して、静止画作品を作るために必要な技術を学びます。
企画構成演習	57.0	2	映像制作に必要な作品の設計方法、絵コンテの描画方法などを学びます。
実写合成演習	114.0	4	実写映像とCG映像の合成技術を駆使し、TVや映画で行われているような映像制作を学びます。
CG応用実習	57.0	2	スカルプトモデリングやモーション制作ソフト等、新しいCG技術を学習し高度なCG制作を学びます。
CGスクリプト	114.0	4	Javaスクリプトの基礎を習得し、Adobe AfterEffectsでの応用やエクスペッションの使用法を学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10	放送機器技術	DTV	放送機器技術	CG制作基礎実習Ⅱ
2	10:25 ↓ 11:35	CG制作基礎実習Ⅱ	CG制作基礎実習Ⅱ	CG制作基礎実習Ⅱ	マルチメディア基礎
3	11:50 ↓ 13:00	CG概論	デッサン	CG概論	色彩演習
	12:35 ↓ 13:45				グラフィックツール実習
4	14:00 ↓ 15:10	DTV	デッサン	グラフィックツール実習	
5	15:25 ↓ 16:35				

■めざせる資格■

- ▼CGクリエイター検定
- ▼マルチメディア検定
- ▼色彩士検定(カラーマスター)
- ▼映像音響処理技術者

Webクリエイター科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により選職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
Webデザイン	199.5	7	DreamweaverやPhotoshop、AdobeXDを活用してホームページのデザインを学びます。
デジタルデザイン	171.0	6	すべてのグラフィックデザインにおいて必要なアプリケーション(Photoshop・Illustrator)を修得し、デザイン・表現方法を学びます。
Web制作Ⅰ	114.0	4	ホームページのコーディングにおいて、情報構造(HTML)とスタイル(CSS)を完全に分離し、CSSによるページレイアウトを学びます。
Webプログラミング	57.0	2	プログラムの基本を学び、JavaScriptを用いた動的なWebページの作成を学びます。
WordPress基礎	28.5	1	WordPressでデータカスタマイズからCMSサイト構築までできるよう、インストール、基本設定方法等を学びます。
DTPデザイン	57.0	2	ロゴ・地図などのデザイン要素やポスター・DMなどの各種印刷媒体についてのデザイン技術の基礎能力を、制作を通じて学びます。
色彩演習	57.0	2	デザインにおける色の効果的な使い方や色彩の基本を修得し、カラーマスターの資格取得をめざします。
広告概論	28.5	1	広告宣伝のあり方や社会での位置づけ、商用サイト構築のためのマーケティングの基礎を学びます。
プランニング	57.0	2	企画の立案からプレゼンテーションまでの流れを学びます。
インターネット基礎	57.0	2	インターネットとWebの特性・種類、Webサイトを制作するうえで必要とされる基礎を学びます。
マルチメディア基礎	57.0	2	マルチメディアとは、文字、映像、音楽などコンピュータで扱える全ての情報のことで、どのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要なのかなど基本を修得します。
IT基礎	57.0	2	コンピュータの基礎的概要についてパソコンからデータ通信まで幅広く学びます。
ビジネススキルトレーニング	28.5	1	社会で必須とされるビジネスアプリケーション(Word・Excel・PowerPoint)を学びます。

■1年次総授業時数1026(36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
Web制作Ⅱ	142.5	5	複数パターンのWebサイトを制作し上級レベルの技術修得をめざします。
jQueryデザイン	57.0	2	JavaScriptのライブラリを利用し、Webサイトにアニメーションなどのエフェクトの組み込みやユーザビリティを向上するナビゲーションの制作などjQuery技術を修得します。
Webディレクション	28.5	1	Webサイト全体の制作プロセスを学び、Webディレクターに求められる能力を身につけます。
UIデザイン	114.0	4	スマートフォン、タブレットPC向けアイコン制作をはじめ、画面設計、デザインカンプの作成について学習します。HTML5+CSS3の基礎を学び、スマートフォンサイト制作をします。
グラフィックデザイン	114.0	4	さまざまなメディアでのデザインを実践的に学びます。
コピーライティング	28.5	1	キャッチコピーの要素、表記、論理などコピーライティングに必要な基礎と表現技法を修得します。
映像編集	114.0	4	After Effectsで映像のデジタル合成やモーション・グラフィックス、タイトル制作など映像表現を学びます。
3DCG	57.0	2	3DCGソフトMayaを使い、モデリング、テクスチャマッピング、ライティング、レンダリング、アニメーションの手法を学びます。
卒業制作	313.5	11	2年間の集大成として、個人またはグループ毎にテーマを設け作品制作を行います。

■2年次総授業時数1026(36単位)

■タイムテーブル例■

		月	火	水	木	金
1	8:00 ↓ 10:10	Web制作Ⅰ	マルチメディア基礎	DTPデザイン	マルチメディア基礎	Web制作Ⅰ
2	10:25 ↓ 11:35	Web制作Ⅰ	プランニング	広告概論	色彩演習	Web制作Ⅰ
3	11:50 ↓ 13:00	WordPress基礎		DTPデザイン	WEB プログラミング	Webデザイン
	12:35 ↓ 13:45					
4	14:00 ↓ 15:10	IT基礎	Webデザイン	就職対策Ⅰ		
5	15:25 ↓ 16:35		Webデザイン			

■めざせる資格■

- ▼Webデザイナー検定
- ▼マルチメディア検定
- ▼情報検定(J検)
- 情報活用試験
- ▼色彩士検定(カラーマスター)
- ▼ビジネス能力検定(B検) ジョブパス

デジタルデザイン科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
デザイン基礎	171.0	6	グラフィックデザインの基礎や要素を、IllustratorやPhotoshopなどのデザイン業務で必須ソフトの基本的な操作方法を学習しながら修得します。
デザイン演習	57.0	2	各種媒体、カテゴリーにおけるデザインの特徴について修得します。また制作手法も修得します。
デッサン造形	114.0	4	基本的描写力を養い、洞察力と感性を磨くための素描訓練を行います。
色彩演習	57.0	2	デザインにおける色の効果的な使い方や色彩の基本を修得し、カラーマスターの資格取得をめざします。
DTPデザインⅠ	114.0	4	IllustratorやPhotoshopを使ってデスクトップパブリッシングの操作方法を修得、各自のアイデアをデジタルで作品化します。
3DCG制作Ⅰ	114.0	4	3DCGソフトの操作方法を学習して、立体的なキャラクターなどをデザインする方法を学びます。
キャラクターイラスト	114.0	4	マスコットキャラクターを中心に、ゲームやマンガなどの魅力的なキャラクターの描き方を学びます。
インターネット基礎	57.0	2	インターネットの特性や種類、Webサイトを制作するために必要な基礎知識を学びます。
Web制作	85.5	3	作品をネットで公開できるように、Webサイトの制作方法とデザインを学びます。
アニメコンボジット	28.5	1	アニメ制作のコンボジット業務（合成・特殊効果・モーション設定）で使用されているソフトの使い方を学びます。
ビジネススキルトレーニング	57.0	2	ビジネス社会で用いられるソフトやセキュリティについて学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
映像制作	57.0	2	映像作品の制作を通して様々な制作技術を身につけます。
イラストレーション	85.5	3	ビジュアル表現の重要エレメントとして、イラストレーションの描き方を学びます。
ブランドデザイン	57.0	2	ブランドイメージにおける重要要素のひとつであるロゴのデザインについて制作を通して学びます。
実践デザイン	57.0	2	グラフィックデザインのトータルな仕事を、様々な媒体での制作を実践的にを行い、それぞれの制作ハウツウを修得します。
DTPデザインⅡ	228.0	8	デスクトップパブリッシングソフトを活用して、それぞれのアイデアを具現化する作品づくりをめざします。
Webデザイン	114.0	4	Webサイトをデザインするソフトの操作方法を学びます。
3DCG制作Ⅱ	114.0	4	3DCGによる様々な表現方法を学びます。
デジタルコミック制作	57.0	2	多くのマンガ制作支援機能を持ったコミック制作ソフトの操作方法を学びます。
ポートフォリオ制作	57.0	2	就職活動に使用するポートフォリオ（作品集）制作を行います。
卒業制作	142.5	5	2年間の集大成として、作品の制作を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	DTPデザインⅡ	イラストレーション	就職対策Ⅱ	デジタルコミック制作
2	10:25 11:35	映像制作	就職対策Ⅱ	実践デザイン	DTPデザインⅡ
3	11:50 13:00		Webデザイン		3DCG制作Ⅱ
4	12:35 13:45	DTPデザインⅡ	ポートフォリオ制作	ポートフォリオ制作	
5	14:00 15:10	イラストレーション	ブランドデザイン	3DCG制作Ⅱ	
6	15:25 16:35				

■めざせる資格■

- ▼アドビ認定アソシエイト Photoshop
- ▼アドビ認定アソシエイト Illustrator
- ▼CGクリエイター検定
- ▼Webデザイナー検定
- ▼色彩士検定(カラーマスター)
- ▼DTP検定ディレクション
- ▼ビジネス能力検定(B検) ジョブパス

デジタルミュージック科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
デジタルミュージック基礎	114.0	4	DAW、ボーカロイドソフトやデジタル機器を使用した音楽制作や編曲の方法について学びます。
デジタルミュージック応用	114.0	4	コンピュータやデジタル機器とさまざまな楽器を使用して、オリジナリティあふれたデジタル音楽の制作方法を学びます。
作曲基礎	114.0	4	曲作りの基礎を学び、各自の感性で自由に音楽を作ったり、音楽を内面から感じる力の表現を養います。
マニピュレートⅠ	57.0	2	「打ち込み音楽」（ソフトを用いて作成する音楽）やアナログ機器における音色の作り方を学びます。
楽器演奏実習	114.0	4	電子機器のみならず、ギター、ベース、ドラムなどアナログ楽器の演奏と、各種楽器のアンサンブルを学びます。
キーボード実習Ⅰ	57.0	2	楽器としてのキーボード操作の基礎を学びます。キーボード操作に慣れている人には個別のレベルアップレッスンをを行います。
ヴォイストレーニングⅠ	57.0	2	呼吸方法や発声の仕方、歌い方の基本を身につけます。また、イヤートレーニングも行います。
音響システム	114.0	4	電気的基础知識、音響機器、ホール音響などを学び、舞台機構調整技能士合格をめざします。
音響実習Ⅰ	57.0	2	音響機器ミキシング、トラックダウン録音技術や音響デザインを学びます。舞台機構調整技能士合格のための重要科目です。
音楽理論	57.0	2	ゲーム、ポピュラー音楽、ロック、ジャズなどのコード進行を学び、各ジャンルのアドリブの考え方を修得します。
マルチメディア概論	57.0	2	音響、映像、画像などコンピュータで扱える全ての情報をどのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要かなど基本を学びます。
ビジネススキルトレーニングⅠ	57.0	2	ビジネス社会で用いられるソフトやセキュリティについて学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
オリジナルCD制作	342.0	12	デジタル機器、各種ソフト楽器を使い、身につけた知識やテクニックを駆使し、オリジナルの楽曲作成にチャレンジします。完成したマスターデータからオンリーワンCDを作成するまでの技術過程等も学びます。
作曲実習	57.0	2	さまざまなジャンルの音楽に触れながら、数多くのオリジナル曲を制作することにより、表現力豊かな音楽を作れるように実習します。
マニピュレートⅡ	57.0	2	コンピュータやアナログ機器で「音色」を追及します。また、波形編集ソフトを使いハイレベルな音楽制作技術を身につけます。
バンドアンサンブル実習	171.0	6	バンドを組み、各楽器の音作りや楽曲ごとの表現方法を学びます。またコンピュータで作った音楽とアナログ音楽とのコラボレーションも実現でき、音楽の楽しさが広がります。
キーボード実習Ⅱ	57.0	2	キーボード実習Ⅰで身につけたテクニックを、さまざまなジャンルの音楽に対応できるように応用力を養成する科目です。
ヴォイストレーニングⅡ	57.0	2	音楽における重要要素である「歌」「聴き方」について、コーラスやヴォイストレーニング、イヤートレーニングを通して学びます。
音響実習Ⅱ	57.0	2	録音技術の修得に必要な、音響機器の利用方法やPA機器の運用方法を学びます。
ビジネススキルトレーニングⅡ	114.0	4	ビジネスにおける基本アプリケーションである、Word、Excel、PowerPointを学び、MOSの合格をめざします。
専攻実習	57.0	2	ギター/ベース/ドラム/キーボード/ヴォーカル/音響の中から1つ選択し更にそれぞれ高度な技術・知識をつけるべく集中して実習。複数や全科授業も選択できます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10	デジタルミュージック基礎	音響システム	音響システム	デジタルミュージック基礎
2	10:25 ↓ 11:35	マルチメディア概論	キーボード実習Ⅰ	デジタルミュージック応用	音楽理論
3	11:50 ↓ 13:00	楽器演奏実習		ヴォイストレーニングⅠ	就職対策Ⅰ
4	12:35 ↓ 13:45				
5	14:00 ↓ 15:10	楽器演奏実習	マニピュレートⅠ		音響実習Ⅰ
6	15:25 ↓ 16:35		デジタルミュージック応用		

■めざせる資格■

- ▼MIDI検定
- ▼舞台機構調整技能士(実務経験免除)
- ▼ProTools技術認定試験
- ▼サウンドレコーディング技術認定試験
- ▼マルチメディア検定
- ▼マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)

映像放送科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
メディア概論	57.0	2	マルチメディアとは、画像、映像、音響などコンピュータで扱える全ての情報のことで、どのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要かなど基本を学修します。
ビジネススキルトレーニング	28.5	1	ビジネス社会で用いられるソフトや、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学修します。
映像技術	171.0	6	地上デジタル放送、ビデオオンデマンドサービス、デジタルサイネージやライブ映像など映像コンテンツ制作技術を学修します。
音響技術	114.0	4	音源や音響の基礎、音響機器の種類、構造、機能、用途やミキシング技術、音響デザイン、機器メンテナンスなどを学修します。
照明技術Ⅰ	114.0	4	照明機器、照明工学などを学び、更に舞台設備、舞台用語、安全衛生、関係法規など、舞台照明からテレビ照明の基本を学修します。
電気工学	142.5	5	電気回路解析に必要な電気数学、電気基礎（直流回路、交流回路）、電子回路（発振作用、増幅作用）を学修します。
カメラワーク実習	57.0	2	映像表現に必要な不可欠なカメラワーク（ポジション・アングル・サイズ・カメラ操作・画面構成）を実習を通して学修します。
スタジオ番組制作基礎実習	57.0	2	スタジオ番組制作に必要なスタジオの映像システムや機器の役割、働きなどを実習を通して学修します。
スタジオ音声基礎実習	57.0	2	スタジオ番組制作に必要なスタジオの音声システムや機器の役割、働きなどを実習を通して学修します。
ノンリニア編集実習	57.0	2	ノンリニア編集に必要なアプリケーションソフトのオペレーションや撮影から編集までのコンテンツ制作の基本を学修します。
画像編集実習	57.0	2	画像編集&デザインソフトの機能を理解し、課題制作を通して、デジタルエフェクトの活用方法や効果、表現テクニックを学修します。
CG制作基礎実習	57.0	2	3DCG制作ソフト（3dsmax）の基本操作を学修し、CG制作の基礎を学修します。

■1年次総授業時数1026（36単位）

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
放送システム	57.0	2	デジタル放送のシステムを通して、符号化技術、伝送技術、デジタル変調技術を学修します。
照明技術Ⅱ	114.0	4	対談番組や歌番組制作実習を通して、実践的なライティングプランと技術を学修します。
ロケーション番組制作実習	114.0	4	ロケーション番組制作実習を通して、撮影から、編集、MA処理、完パケ実習など、「創る楽しさ」や番組制作に必要なチームワーク、スタッフの関係と役割などを学修します。
スタジオ番組制作実習	171.0	6	スタジオ番組制作実習を通して、番組を創るための制作手法やスタッフの責任感や連帯感、関わりを学びながら実践的スキルを学修します。
CG制作実習	114.0	4	CG制作基礎実習で修得した技術を元に実践的な技術修得とCGコンテンツ制作を学修します。
電波法規	28.5	1	無線通信に必要な電波法規やその他の電波法令について学修します。
通信工学	142.5	5	携帯電話や衛星通信などの各種通信方式、送受信機、無線関連設備、アンテナ理論など無線通信について学修します。
卒業研究	57.0	2	個人または少人数のグループに分かれて、課題テーマの研究やプレゼンテーションを通じて、専門スキルを向上させます。
卒業制作	171.0	6	2年間の集大成として、それぞれ学んできた技術、知識、知恵を活かし、「もの創り」にチャレンジします。

■2年次総授業時数1026（36単位）

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:10	就職対策Ⅰ	カメラワーク実習	映像技術	照明技術Ⅰ
2	10:25 ~ 11:35	電気工学	カメラワーク実習	メディア概論	照明技術Ⅰ
3	11:50 ~ 13:00				
4	12:35 ~ 13:45	ノンリニア編集実習	ノンリニア編集実習	電気工学	音響技術
5	14:00 ~ 15:10	映像技術	スタジオ音声基礎実習		電気工学
6	15:25 ~ 16:35				

■めざせる資格■

- ▼第一級陸上特殊無線技士(卒業時に取得)
- ▼映像音響処理技術者
- ▼マルチメディア検定

音響制作科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
メディア概論	57.0	2	マルチメディアとは、画像、映像、音響などコンピュータで扱える全ての情報のことで、どのようなもので何ができるのか、またどのような機器が必要かなど基本を学修します。
ビジネススキルトレーニング	28.5	1	ビジネス社会で用いられるソフトや、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学修します。
映像技術	114.0	4	地上デジタル放送、ビデオオンデマンドサービス、デジタルサイネージやライブ映像など映像コンテンツ制作技術を学修します。
音響技術	171.0	6	音源や音響の基礎、音響機器の種類、構造、機能、用途やミキシング技術、音響デザイン、機器メンテナンスなどを学修します。
照明技術Ⅰ	114.0	4	舞台設備、舞台用語、安全衛生、関係法規などを学び、更に照明機器、照明工学、舞台照明からテレビ照明の基本を学修します。
電気工学	114.0	4	音響機器を理解するのに必要な電気基礎（直流回路、交流回路）、電子回路（発信作用、増幅作用）を学修します。
レコーディング基礎実習	85.5	3	スタジオレコーディングに必要なスタジオのシステムや機器の役割、働きなどを実習を通して学修します。
PA基礎実習	114.0	4	PA（拡声）システムのセットアップとオペレート及び出演者とのコミュニケーション手法を学修します。
DAW基礎実習	114.0	4	デジタル・オーディオ・ワークステーション（DAW: デジタルで音声の録音、編集、ミキシングなど一連の作業ができる一体型システム）の代表的システムのオペレーションを学修します。
MA基礎実習	57.0	2	ビデオポストプロダクション業務の音声処理工程について基本から制作処理まで学修します。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
放送システム	57.0	2	デジタル放送のシステムを通して、符号化技術、伝送技術、デジタル変調技術を学修します。
照明技術Ⅱ	114.0	4	舞台やステージイベントに合わせたプラン作成から、仕込み、本番、撤収までをホール実習を通して実践的に学修します。
レコーディング実習	171.0	6	番組、コマーシャル、音楽、アテレコなど目的に合わせたレコーディングテクニックを学修します。
PA実習	171.0	6	ステージ演出に合わせた音響プランニングから機材セッティング、オペレートなど実践的テクニックを学修します。
DAW実習	114.0	4	DAWを中心とした音響効果、コンテンツ制作の最終仕上げとなる原盤（CD、DVD）制作処理を学修します。
MA実習	57.0	2	映像コンテンツ制作における、録音方法や映像編集後のMA（テレビやビデオ映像の編集作業後に行われる音声処理作業）を学修します。
卒業研究	57.0	2	個人または少人数のグループに分かれて、課題テーマの研究やプレゼンテーションを通じて、専門スキルを向上させます。
卒業制作	228.0	8	2年間の集大成として、それぞれ学んできた技術、知識、知恵を活かし、「もの創り」にチャレンジします。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10	就職対策Ⅰ	PA基礎実習	音響技術	照明技術Ⅰ
2	10:25 ↓ 11:35	DAW基礎実習	PA基礎実習	メディア概論	照明技術Ⅰ
3	11:50 ↓ 13:00				
4	12:35 ↓ 13:45	レコーディング基礎実習	レコーディング基礎実習	DAW基礎実習	音響技術
5	14:00 ↓ 15:10	映像技術	電気工学		映像技術
6	15:25 ↓ 16:35				電気工学

■めざせる資格■

- ▼舞台機構調整技能士(実務経験免除)
- ▼サウンドレコーディング技術認定試験
- ▼ProTools技術認定試験
- ▼映像音響処理技術者
- ▼マルチメディア検定

建築科

▶建築工学コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
工業数学	57.0	2	設計製図に必要な数式、図形の知識、三角関数などを学びます。
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
建築設計製図Ⅰ	114.0	4	建築実務の基礎として建築図面の理解と表現方法を修得します。また、建築物の見学で建築写真やスケッチ技術を修得します。
建築設計製図Ⅱ	114.0	4	小規模建築物の課題を通して建築計画の理解を深め、設計手法を修得します。作品はパネルやスライド、動画でプレゼンテーションを行い実践力を高めます。
CAD設計Ⅰ	114.0	4	CADの使用法を学び、設計図とコンピュータグラフィックス技術を駆使した建築3Dパースの作成方法を修得します。
CAD設計Ⅱ	114.0	4	建築物を3次元CAD上に作成することで構造・仕上げの理解を深め、3次元設計手法を修得します。
建築計画Ⅰ	114.0	4	建築計画の基礎となる人や物の寸法や行動、住生活様式、住宅の歴史など住宅を中心に計画手法を学びます。
建築一般構造	114.0	4	住宅に使われる木造と、ビルに使われる鉄筋コンクリート造・鉄骨造などの建築のしくみを学びます。
建築法規	57.0	2	建築基準法とその関係法規について、法律の考え方や基準の内容を理解し、基準に適合する設計方法を学びます。
建築実習Ⅰ	57.0	2	測量の基礎理論と操作方法を、平板測量・トランシット測量・レベル測量を通じて学びます。
コンピュータ基礎	114.0	4	コンピュータの基本操作からOfficeソフトの活用、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。また、CAD利用技術者試験の対策を行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
構造力学	114.0	4	力の基礎となる、モーメント・合力・力の釣り合いと反力について学び、建築物に加わる力、部材の設計手法を修得します。

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
建築設計製図Ⅲ	171.0	6	鉄筋コンクリート造・鉄骨造を中心とした計画と製図方法を学びます。
建築計画Ⅱ	85.5	3	公共建築の計画から、外構計画、都市計画へと対象建築物を広げ建築計画の手法について学びます。また、建築の歴史から世界中の建築様式を学び、計画力を高めます。
建築計画演習	114.0	4	住宅計画の実践演習として建築士試験問題を題材に設計手順、留意点を学びます。さらに平面図・立面図・矩計図を時間内で作図する演習も行います。
構造力学演習	57.0	2	問題演習を通して建築構造の解法、部材の力学的性質や構造設計法の基礎を学びます。
建築材料	57.0	2	建築の構造及び仕上げ材料のそれぞれの基本性質、使用方法について学びます。
建築生産	57.0	2	木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造を中心にその施工法と積算法を学びます。
建築生産演習	57.0	2	在学中に学科試験が受験可能な2級建築施工管理技術検定試験の問題演習を行います。
建築法規演習	57.0	2	建築士試験の会場に持ち込むことができる建築関係法令集を使って、二級建築士試験の問題演習を行います。
建築実習Ⅱ	85.5	3	木材、コンクリート、鉄筋のそれぞれの基本性質を、実験を通して学びます。また、2次元CADの製図実習を行います。
卒業制作	228.0	8	自主設計による建築物の企画から設計・プレゼンテーションまで卒業制作物としてまとめます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
建築環境工学	57.0	2	音、熱、光などの基礎を理解し、建築の環境計画手法を学びます。
建築設備	57.0	2	空調、電気、給排水、防災など建築物の機能として必要な設備を理解し、建築設備の設計方法を学びます。

■タイムテーブル例■

		月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10	CAD 設計Ⅱ	コンピュータ基礎	構造力学	CAD 設計Ⅱ	建築計画Ⅰ
2	10:25 ↓ 11:35	CAD 設計Ⅱ	建築実習Ⅰ	構造力学	CAD 設計Ⅱ	建築一般構造
3	11:50 ↓ 13:00					
	12:35 ↓ 13:45	就職対策Ⅰ	建築実習Ⅰ		建築計画Ⅰ	建築設計製図Ⅱ
4	14:00 ↓ 15:10	建築一般構造	建築設計製図Ⅱ		工業数学	建築設計製図Ⅱ
5	15:25 ↓ 16:35	コンピュータ基礎	建築設計製図Ⅱ			

■めざせる資格■

- ▼一級建築士(登録には実務経験4年以上)
- ▼二級建築士
- ▼木造建築士
- ▼1級建築施工管理技士(実務経験5年以上)
- ▼2級建築施工管理技士(実務経験2年以上)
- 学科試験のみ在学中受験可能
- ▼宅地建物取引士
- ▼福祉住環境コーディネーター
- ▼CAD利用技術者

建築科

▶CAD設計コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
工業数学	57.0	2	建築設計に必要な数式、図形の知識、三角関数などを学びます。
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
建築設計製図Ⅰ	114.0	4	建築実務の基礎として建築図面の理解と表現方法を修得します。また、建築物の見学で建築写真やスケッチ技術を修得します。
建築設計製図Ⅱ	114.0	4	小規模建築物の課題を通して建築計画の理解を深め、設計手法を修得します。作品はパネルやスライド、動画でプレゼンテーションを行い実践力を高めます。
CAD設計Ⅰ	114.0	4	CADの使用法を学び、設計図とコンピュータグラフィックス技術を駆使した建築3Dパースの作成方法を修得します。
CAD設計Ⅱ	114.0	4	建築物を3次元CAD上に作成することで構造・仕上げの理解を深め、3次元設計手法を修得します。
建築計画Ⅰ	114.0	4	建築計画の基礎となる人や物の寸法や行動、住生活様式、住宅の歴史など住宅を中心に計画手法を学びます。
建築一般構造	114.0	4	住宅に使われる木造と、ビルに使われる鉄筋コンクリート造・鉄骨造などの建築のしくみを学びます。
空間デザイン	114.0	4	建築空間の重要な要素である光や広さなどを実空間や模型制作で体験し、建築の楽しさ、可能性を学びます。
コンピュータ基礎	114.0	4	コンピュータの基本操作からOfficeソフトの活用、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。また、CAD利用技術者試験の対策を行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
構造力学	114.0	4	力の基礎となる、モーメント・合力・力の釣り合いと反力について学び、建築物に加わる力、部材の設計手法を修得します。

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
建築設計製図Ⅲ	228.0	8	都市、自然環境との調和をめざす設計課題を通して材料・法規・環境の理解を深め、建築実務への応用方法を修得します。また、詳細図面の作成方法を学びます。
CAD設計Ⅲ	171.0	6	建築業界で現在普及している複数のCADと今後導入が進む最新のBIMの操作方法を修得し、CAD利用技術者としての実践力を高めます。
建築計画Ⅱ	85.5	3	公共建築の計画から、外構計画、都市計画へと対象建築物を広げ建築計画の手法について学びます。また、建築の歴史から世界中の建築様式を学び、計画力を高めます。
建築材料	57.0	2	建築の構造及び仕上げ材料のそれぞれの基本性質、使用方法について学びます。
建築生産	57.0	2	木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造を中心にその施工法と積算法を学びます。
建築法規	28.5	1	建築基準法とその関係法規について、法律の考え方や基準の内容を理解し、基準に適合する設計方法を学びます。
建築実習	114.0	4	本物の材料を使った実物大模型の作成で、施工法を実践的に学びます。また、施工管理法の演習で建築施工管理技術者の実務を修得します。
卒業制作	228.0	8	自主課題による建築物の企画から設計、プレゼンテーションまでの一連を卒業制作としてまとめます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
建築環境工学	57.0	2	音、熱、光などの基礎を理解し、建築の環境計画手法を学びます。
建築設備	57.0	2	空調、電気、給排水、防災など建築物の機能として必要な設備を理解し、建築設備の設計方法を学びます。

■タイムテーブル例■

		月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	CAD 設計Ⅱ	コンピュータ基礎	構造力学	CAD 設計Ⅱ	建築計画Ⅰ
2	10:25 11:35	CAD 設計Ⅱ	空間デザイン	構造力学	CAD 設計Ⅱ	建築一般構造
3	11:50 13:00					
	12:35 13:45	就職対策Ⅰ	空間デザイン		建築計画Ⅰ	建築設計製図Ⅱ
4	14:00 15:10	建築一般構造	建築設計製図Ⅱ		工業数学	建築設計製図Ⅱ
5	15:25 16:35	コンピュータ基礎	建築設計製図Ⅱ			

■めざせる資格■

- ▼一級建築士(登録には実務経験4年以上)
- ▼二級建築士
- ▼木造建築士
- ▼1級建築施工管理技士(実務経験5年以上)
- ▼2級建築施工管理技士(実務経験2年以上)
- 学科試験のみ在学中受験可能
- ▼宅地建物取引士
- ▼福祉住環境コーディネーター
- ▼CAD利用技術者

建築大工技能科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
一般常識	57.0	2	建築に必要な数式、図形の知識、漢字などを学びます。
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
建築技能実習Ⅰ	456.0	16	実物大の木造モデルを建築しながら、大工道具の種類、使用法を学び、墨付け、材料加工技術など大工技能の基本を修得します。
建築基礎製図	114.0	4	建築実務の基礎として建築図面の理解と作図方法を修得します。
建築計画	114.0	4	建築計画の基礎となる人や物の寸法や行動、住生活様式を学びます。また、伝統的建造物の歴史から木造の特徴を理解します。
建築一般構造	114.0	4	木造建築物の構造・造作の詳細と、ビルに使われる鉄筋コンクリート造・鉄骨造の概略を学びます。また、構造力学の基礎として材料に加わる力を理解します。
コンピュータ基礎	114.0	4	コンピュータの基本操作からOfficeソフトの活用法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
建築技能実習Ⅱ	456.0	16	実物大の木造モデルを建築しながら、木材加工機械の種類と操作方法を学び、大工技能の全工程を実践します。
建築CAD製図	171.0	6	CADの操作方法を学び、設計図の作成方法を修得します。また、プレゼンテーション方法を学び、2年間で作成したものをパネルやスライドにまとめ発表します。
建築設計製図	142.5	5	住宅の設計手法と設計図の作成手法を、住宅計画の理論と連動しながら実践的に修得します。
住宅計画	85.5	3	住宅計画の留意点を理解し、計画・構造・法規・意匠と調和のとれた設計手法を学びます。
建築材料	57.0	2	木材を始めとする構造材料と各種仕上げ材料のそれぞれの種類、性質、使用方法について学びます。
建築生産	28.5	1	木造建築物の施工方法と、安全衛生に関する知識を学びます。
建築法規	28.5	1	建築基準法について、法律の考え方や基準の内容を理解し、基準に適合する設計方法を学びます。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	建築技能実習Ⅰ	建築基礎製図	建築技能実習Ⅰ	コンピュータ基礎
2	10:25 11:35	建築技能実習Ⅰ	建築基礎製図	建築技能実習Ⅰ	建築一般構造
3	11:50 13:00				就職対策Ⅰ
4	12:35 13:45	建築技能実習Ⅰ	建築技能実習Ⅰ	コンピュータ基礎	
5	14:00 15:10	建築技能実習Ⅰ	建築一般構造	建築技能実習Ⅰ	一般常識
6	15:25 16:35		建築計画	建築計画	

■めざせる資格■

- ▼一級建築士(登録には二級建築士取得後実務経験4年以上)
- ▼二級建築士(登録には実務経験1年以上)
- ▼木造建築士(登録には実務経験1年以上)
- ▼2級建築施工管理技士(実務経験2年以上)
学科試験のみ在学中受験可能
- ▼建築大工技能士(2級3級を在学中に受験可能)
- ▼労働安全衛生法による技能講習修了

インテリア科

1 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえ書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内 容
コンピュータ基礎	114.0	4	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
インテリア概論	57.0	2	福祉住環境コーディネーター3級取得のため対策授業を行います。また、インテリアデザイン概論についても学びます。
インテリア計画Ⅰ	114.0	4	インテリア設計基礎実習ということで、図面表現及びモデル制作の基礎を修得します。
インテリア販売	114.0	4	前期はリビングスタイリスト2級対策を主に行い、後期はパース基礎実習及びインテリアコーディネーター知識を習得します。
建築計画	57.0	2	建築及び住環境計画の意義、更に建築設計計画の知識を理解修得します。
建築材料	57.0	2	建築及び住環境に関連する、各種材料について理解修得します。
設計製図	114.0	4	前期は建築・インテリア製図の基本作図法を修得し、後期はインテリア設計士2級を視野に入れ、より応用的なインテリア製図法を学びます。
CAD設計Ⅰ	228.0	8	インテリアデザインツールとして最適なVector Worksソフトで、インテリア建築における2D3Dの作図法を修得します。
デジタルデザイン	57.0	2	作品をより美しい表現にするために、CADソフトと画像処理ソフトの連携を、課題を通して修得します。
カラーコーディネイト	57.0	2	色彩士検定3級を視野に入れ、デザインにおける色の効果的な使い方や色彩計画の基本を学びます。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目

科目名	授業時数	単位数	内 容
インテリアコーディネイト	171.0	6	インテリアコーディネーター対策に加え、コーディネイトに必要な、単位空間の詳細設計及び機器仕様リストなどを作成します。
インテリア計画Ⅱ	114.0	4	インテリア設計応用実習ということで、より高いレベルでの図面表現及びモデル制作を行います。
建築法規	28.5	1	建築法規の意義及びインテリアに関連する法律を、理解修得します。
建築施工	28.5	1	木造を主体とし、各種工事の施工方法・管理などを理解修得します。
住宅計画	171.0	6	2級建築士・設計製図試験対策をベースに、木造住宅について企画から設計まで一連の流れを体験し、その概要を理解修得します。
建築構造	114.0	4	建築構造の基礎及び住環境に関連する構造について理解修得します。
CAD設計Ⅱ	171.0	6	3DCG画像をより効果的に表現するために、CADと画像処理ソフトを併用する技術を、課題を通して修得します。
インテリア制作	171.0	6	インテリアに関連する総合的な理解を確認するために、インテリア全般に関わる応用制作を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10	CAD設計Ⅱ	CAD設計Ⅱ	CAD設計Ⅱ	
2	10:25 ↓ 11:35	建築施工	建築法規	住宅計画	建築構造
3	11:50 ↓ 13:00				
4	12:35 ↓ 13:45	就職対策Ⅱ	インテリア計画Ⅱ	インテリア コーディネイト	インテリア コーディネイト
5	14:00 ↓ 15:10	インテリア コーディネイト	住宅計画	建築構造	住宅計画
6	15:25 ↓ 16:35				

■めざせる資格■

▼二級建築士 ▼木造建築士 ▼2級建築施工管理技士(実務経験2年以上) ▼インテリア設計士 ▼インテリアコーディネーター ▼キッチンスペシャリスト ▼インテリアプランナー(要・所定の実務経験) ▼アソシエイト・インテリアプランナー ▼商業施設士(卒業後実務経験1年以上で受験資格)	▼商業施設士補(商業施設士試験受験資格認定校) ▼CAD利用技術者基礎試験 ▼色彩士検定(カラーマスター) ▼リビングスタイリスト ▼福祉住環境コーディネーター ▼リテールマーケティング(販売士)検定
--	---

電気工学科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
情報リテラシー	28.5	1	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
コンピュータ基礎	57.0	2	ワープロソフトや表計算ソフトの基本的な操作方法について学びます。
電気通信技術	85.5	3	電気通信ネットワークと端末設備の接続のための技術などを学びます。
通信関連法規	57.0	2	電気通信関連の法規についての概要を学びます。
太陽光発電技術	28.5	1	太陽光発電システムとその施工技術について学びます。
電気理論	142.5	5	直流回路・交流回路の基礎、各電気回路の計算方法、磁気や静電気について学びます。
配線設計	57.0	2	配電方式、引き込み線、配線やその設計法などについて学びます。
電気工用機器工具Ⅰ	57.0	2	電気工用の工具や材料、各種の電気機器の原理や動作、配線器具の構造などについて学びます。
施工方法	114.0	4	電気工事の方法、各種の電気機器の設置方法、電線やコードの取付け方法、接地工事などについて学びます。
電気工事実習Ⅰ	256.5	9	電気工事士として必要な基本的な電線の接続法、基礎的な配線工事などについて実習を行いながら学びます。また、基礎的な電気回路の測定実験を行います。
電気総合演習Ⅰ	85.5	3	1年間で学んだ知識、技能を活用し、電気工事の総合的な演習を行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
コンピュータ応用	114.0	4	汎用CADを使用して基本図形の作図を行い、電気設備の図面を作成します。
電気工用機器工具Ⅱ	85.5	3	電気工用の工具や材料、各種の電気機器の原理や動作、配線器具の構造などについて学びます。
検査方法	28.5	1	電気設備の点検方法や、各種測定方法、測定機器の性能及び使用法について学びます。
配線図	85.5	3	電気回路の基本製図、配線図の図記号や配線方法及び表示方法などについて学びます。
保安法令	85.5	3	電気工事業務に携わるのに必要な電気関係法規や、建設業法、建築基準法、消防法、労働安全衛生法など、関係法令を学びます。
電気工事実習Ⅱ	484.5	17	電気工事士として必要な電気機器・配線器具の設置、各種電気工事、設置工事、各種の測定法、検査や故障箇所の修理などを実習で学びます。また、設計、積算、シーケンス制御についても学びます。
電気総合演習Ⅱ	85.5	3	2年間で学んだ知識、技能を活用し、電気工事の総合的な演習を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	施工方法	電気理論	電気工事実習Ⅰ	施工方法
2	10:25 11:35	情報リテラシー	電気理論	電気工事実習Ⅰ	通信関連法規
3	11:50 13:00	電気工用機器工具Ⅰ	配線設計	電気工事実習Ⅰ	電気理論
4	12:35 13:45				
5	14:00 15:10		電気工事実習Ⅰ	就職対策Ⅰ	
6	15:25 16:35		電気工事実習Ⅰ		

■めざせる資格■

▼第一種電気工事士
▼第二種電気工事士(卒業時に取得)
▼工事担任者
▼エネルギーマネジメントアドバイザー
▼2級電気工事施工管理技士(実務経験2年以上)
学科試験のみ在学中に受験可能(認定校)
▼PVマスター施工技術者
PV:「PhotoVoltaic」の略で、「光電池」や「太陽電池」を意味します。

機械CAD設計科

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅰ	57.0	2	一般常識や適性試験対策を中心に学習します。就活時必要となるエントリーシートや履歴書は、自己分析により適職を知ったうえで書き方を学びます。また会社訪問の仕方や面接はビジュアル教材を使い、実践トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
コンピュータ基礎	114.0	4	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
ビジネスソフト	114.0	4	前期はWindowsの基本操作・ファイル管理法を表計算ソフト「Excel」を通して学びます。後期は、プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の機能と基本操作を学びます。また、それぞれマイクロソフトオフィススペシャリストの対策を行います。
図学	114.0	4	前期はJISによる製図要領など手書き製図の基礎能力を養い、平面図法（2次元）を修得します。後期は立体図法（3次元）を学び、その後実践的な図面を中心に機械図面を作成します。
機械工学Ⅰ	114.0	4	機械とは？機械工学とは？まずは幅広く基礎を学び、2年次の専門的な学習へつなげます。
CAD理論	57.0	2	CAD利用技術者試験 1級（実技・筆記）および2級（筆記）の対策を行います。
CAD実習	285.0	10	前期は汎用2次元CADを使用して基本図形の作図を行い、CADの考え方や操作方法について理解を深めます。後期は応用図形の作図を行い、実践力を身につけます。
3次元 CAD実習Ⅰ	114.0	4	3次元 CADの基本的な考え方や操作方法について学びます。
カラーコーディネイト	57.0	2	設計における色の効果的な使い方や色彩計画の基本を学びます。また、カラーコーディネーター検定試験の対策を行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
就職対策Ⅱ	57.0	2	受験企業の研究、時事問題対策、面接訓練など、より実践的な就活トレーニングを行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
プレゼンテーション	114.0	4	プレゼンテーションソフト「PowerPoint」の応用を学びます。また、プレゼンテーションの概要と効果的な技法を学びます。
機械設計法	114.0	4	機械設計の基本とその応用について、理論と実習の両面から学びます。
機械工学Ⅱ	114.0	4	材料・力学・工作・流れ・熱などを学び、相互の関連を理解します。
自動車概論	57.0	2	自動車はどうして動くのか、その構造や装置に関する基礎知識について学びます。
設備概論	28.5	1	さまざまな設備について、建築との関連なども考慮し学びます。
電気概論	28.5	1	電気の基本について、機械との関連なども考慮し学びます。
CG概論	57.0	2	CGに関する基本的な知識を修得し、CAD分野への応用を学びます。また、CGクリエイター検定の対策を行います。
CG演習	57.0	2	グラフィック系ツールの画像処理ソフト・ドローソフトの操作方法を学びます。
3次元CAD実習Ⅱ	171.0	6	3次元CADを使って物をつくる考え方や、モデリングの基本から応用まで、さまざまな形状のモデリングを通して身につけます。
卒業制作	228.0	8	2次元・3次元CADの技術を最大限に利用し、企画からプレゼンテーションまでの自主課題制作を行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 10:10	CAD実習	ビジネスソフト	図学	CAD実習
2	10:25 11:35	CAD実習	ビジネスソフト	図学	CAD実習
3	11:50 13:00	コンピュータ基礎	機械工学Ⅰ	CAD実習	コンピュータ基礎
	12:35 13:45				
4	14:00 15:10	CAD理論		CAD実習	就職対策Ⅰ
5	15:25 16:35				

■めざせる資格■

- ▼CAD利用技術者
- ▼マイクロソフトオフィススペシャリスト(MOS)
- ▼色彩士検定(カラーマスター)
- ▼CGクリエイター検定

国際ビジネス科 (留学生対象)

▶ビジネスコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
日本語Ⅰ	342.0	12	専門的な学習に対応できる日本語力を養うとともに日本語の各種資格試験対策も行います。
就職対策Ⅰ	57.0	2	留学生が日本で就職するために必要な基本事項と履歴書やエントリーシートの書き方などを学びます。
キャリアデザインⅠ	57.0	2	日本での就職筆記試験に対応できるように広い分野の一般常識の基礎と日本事情などを学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
情報リテラシー	28.5	1	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
ライセンス対策Ⅰ	114.0	4	Office2016のWord,Excelを基礎から学びます。
ワープロ演習	57.0	2	ワープロ機能による文章作成の基本を学びます。日本語ワープロ検定、パソコンスピード認定試験 日本語対策も行います。
プレゼンテーション演習Ⅰ	28.5	1	プレゼンテーションソフトPowerPointの学習を基礎から始め、自らの企画を要領よく聞き手に伝える技術について学びます。
ビジネス日本語Ⅰ	57.0	2	主に論文に関する指導を行います。他、日本語に関する各種資格試験対策も行います。
ビジネスマナー	57.0	2	日本社会で通用する社会人としての礼儀作法や日本独特の習慣などを学びます。より実践的な所作、作法について徹底指導します。
マーケティングⅠ	57.0	2	自由主義経済社会のマーケティングに関する基礎を学びます。
ビジネスコミュニケーション	57.0	2	一般社会の現場で通用する場面に応じたさまざまな日本語の表現を学びます。実際に使えるように訓練します。
ビジネス文書	57.0	2	ビジネス文書作成とその活用について学びます。
選択必修科目Ⅰ	57.0	2	1年次の後期から、対策クラスを編成し、個々の学生のスキルを伸長させ、また不得意分野を克服できるようにします。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

選択必修科目Ⅰ▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
TOEIC試験対策Ⅰ	57.0	2	英語の基礎力が十分にある学生に対し指導します。TOEIC700点を目標に英語力のレベルUPを図ります。
CAD演習Ⅰ	57.0	2	近年、留学生にも求められるスキルの1つにCADがあります。AutoCADの実践的な使い方を学びます。
MOS対策Ⅰ	57.0	2	基本的なPCスキルをマスターした留学生を対象にMOS対策を行い、資格の取得に挑戦します。
日本語試験対策Ⅰ	57.0	2	留学生の就職に必須の日本語能力、主にJLPT対策を行い個々人のレベルを引き上げます。
漢検対策Ⅰ	57.0	2	日本社会で働くには、漢字は必須の能力です。漢検に特化した指導を行い個々人のレベルを引き上げます。

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
日本語Ⅱ	342.0	12	日本語の四技能をさらに伸ばし、上級レベルの日本語資格の取得をめざします。
就職対策Ⅱ	57.0	2	日本で就職するために必要な基本事項の復習と就労ビザ変更に必要な資料作成について学びます。
企業実務基礎	57.0	2	日本社会で就労する際に必要な労務管理と労務法規について学びます。また簿記会計の基礎も学びます。
キャリアデザインⅡ	57.0	2	日本での就職筆記試験に対応できるように広い分野の一般常識を学び試験に対応できるようにします。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
ライセンス対策Ⅱ	114.0	4	Word、Excelの応用について学びます。また、AutoCADの基礎についても学びます。
ビジネス実務	57.0	2	コミュニケーション検定と秘書検定、サービス接客検定の対策を行います。
ビジネス日本語Ⅱ	57.0	2	面接時に必要な所作や就活に必要な日本語、更に就労ビザ申請に必要な資料作成などについて学びます。
マーケティングⅡ	57.0	2	1年次の基礎をもとに更に流通や取引、生産・品質管理、工程管理、在庫管理などの実践的な知識を学びます。
デザイン演習	28.5	1	AutoCADの応用と実践的な図面作成の手法を学びます。
プログラミング言語	57.0	2	Excelの応用及びプログラミングの基礎となるVBAなどを学びます。
貿易実務	57.0	2	国際貿易の事務処理、資本取引や貿易取引の制限など実践的な知識を学びます。また、日本、母国における起業についても学びます。更に職業実践専門課程の指導を行います。
プレゼンテーション演習Ⅱ	28.5	1	1年次の基礎をもとに、PowerPointの応用とレポートなどの具体的な発表方法について学びます。
選択必修科目Ⅱ	57.0	2	1年次の後期から引き続き同じ対策クラスで学習を継続し、個々の学生のスキルを伸長させ、また不得意分野を克服できるようにします。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

選択必修科目Ⅱ▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
TOEIC試験対策Ⅱ	57.0	2	1年次のTOEIC試験対策Ⅰでの学習内容をベースにして、TOEIC700点を目標に更なるレベルUPを図ります。
CAD演習Ⅱ	57.0	2	CAD演習Ⅰで学んだことをベースに、より実践的なAutoCADの使い方について学びます。
MOS対策Ⅱ	57.0	2	MOS対策の過去問題を扱い、より実践的な資格対策をします。
日本語試験対策Ⅱ	57.0	2	日本語試験対策Ⅰで学んだことをベースにJLPTの他、NAT-TEST対策にも力を入れます。
漢検対策Ⅱ	57.0	2	漢検対策Ⅰでの学習内容の復習から始め、個々の学生のレベルに応じた漢検対策を行います。

■タイムテーブル例■

		月	火	水	木	金
1	9:00 ↓ 10:10	ワープロ演習	ビジネスマナー	就職対策Ⅰ	ライセンス対策Ⅰ	ビジネス日本語Ⅰ
2	10:25 ↓ 11:35	ライセンス対策Ⅰ	日本語Ⅰ	ビジネス コミュニケーション	マーケティングⅠ	日本語Ⅰ
3	11:50 ↓ 13:00	日本語Ⅰ	キャリアデザインⅠ	日本語Ⅰ	日本語Ⅰ	ビジネス文書
	12:35 ↓ 13:45					
4	14:00 ↓ 15:10	情報リテラシー				プレゼンテーション 演習Ⅰ
5	15:25 ↓ 16:35					日本語Ⅰ

■めざせる資格■

- ▼日本語ワープロ検定
- ▼情報処理技能検定 表計算
- ▼パソコンスピード認定試験 日本語
- ▼パソコンスピード認定試験 英文
- ▼日本語能力検定
- ▼日本語学カテスト
- ▼日本語NAT-TEST
- ▼日本語学カテストQUICK
- ▼J.TEST実用日本語検定
- ▼PJC(実践日本語コミュニケーション検定)
- ▼PJC Bridge(実践日本語コミュニケーション検定・ブリッジ)
- ▼サービス接客検定
- ▼実用英語技能検定
- ▼秘書検定
- ▼日商簿記検定
- ▼電卓技能検定試験
- ▼コミュニケーション検定

国際ビジネス科 (留学生対象)

▶ ITコース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
日本語Ⅰ	228.0	8	すべての学習の基本となる日本語のレベルアップを図ります。日本語の各種試験対策も行います。
就職対策Ⅰ	57.0	2	自己分析をしたり、就職のときに必要な履歴書の書き方やエントリーシートの書き方などを学びます。
キャリアデザインⅠ	57.0	2	就職のときに求められる一般常識について学びます。また国内外での起業、ソーシャルビジネスに関する職業実践専門課程の指導も行います。
ビジネスマナー	57.0	2	日本社会で通用する社会人としての礼儀作法や日本独特の習慣などを学びます。より実践的な所作、作法について徹底指導します。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
IT基礎Ⅰ	85.5	3	コンピュータの構成やオペレーティングシステムの機能などITに関する知識を基本から学んでいきます。
ワープロ演習	57.0	2	タイピングの基本練習を行います。またワープロ検定対策も行います。
情報リテラシー	28.5	1	メールやインターネット、インターネット社会のモラルやセキュリティについて学びます。
オフィスアプリケーションⅠ	114.0	4	Windowsの基本操作、Word、Excelの基本操作から応用まで学びます。
IT基礎Ⅱ	85.5	3	IT基礎Ⅰで学んだことをもとに、セキュリティやプロジェクトマネジメントの基本などの知識を深めていきます。
プログラミング基礎	171.0	6	アルゴリズムの基礎を学び、オブジェクト指向言語でプログラミングの基本を学びます。P検及びITパスポートの資格試験対策も行います。
通信ネットワーク基礎	28.5	1	インターネットはどうしてつながるか、ネットワークの仕組みを学びます。
ビジネス日本語Ⅰ	57.0	2	ビジネスの現場で求められる日本語を学びます。またビジネス系資格試験対策も行います。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
基礎日本語Ⅰ	114.0	4	ITコースは、高度なレベルのIT科目を1年次から学ぶため、日本語のレベルを引き上げるための指導を行います。

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
日本語Ⅱ	228.0	8	1年次の日本語Ⅰをもとに、日本語のレベルアップを図ります。日本語の各種試験対策も行います。
就職対策Ⅱ	57.0	2	企業分析、面接対策、就労ビザ取得に必要な知識と資料作成について学びます。
キャリアデザインⅡ	57.0	2	就職のときに求められる一般常識試験に対応できるよう、より実践的な内容について学びます。
企業実務基礎	57.0	2	日本社会における労務法規、労務管理及び簿記会計の基礎を学びます。電卓検定対策も行います。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
Webシステム構築Ⅰ	57.0	2	Webサーバを立ち上げサイトの構築を学びます。HTMLやCSSについても学びます。更に職業実践専門課程の事前指導をします。
IT応用	28.5	1	IT基礎で学んだ内容を深め、また、最新の技術動向も学びます。1年時の基礎をベースにP検対策の指導を継続します。
プログラミング言語Ⅰ	142.5	5	スレッドや、ネットワーク処理について学び、更にシステム開発についても学びます。Javaの資格試験対策も行います。
データベース管理	57.0	2	関係データベースの管理、およびテーブルの操作、最適化、設計を学びます。また、SQL言語についても学びます。
オフィスアプリケーションⅡ	57.0	2	Word、Excel、Accessなどを利用した実践的な演習を行います。情報処理技能検定表計算の試験対策も行います。
Webシステム構築Ⅱ	57.0	2	Webシステムに必要なサーバーサイドのプログラムについて学びます。職業実践専門課程の指導を継続します。
プログラミング言語Ⅱ	171.0	6	今まで学んだことをもとに、グループを組み、システム開発を行います。Javaの資格試験及びITパスポートの資格試験対策も行います。
ビジネス日本語Ⅱ	57.0	2	ビジネスの現場で求められる日本語の実践演習を行います。またビジネス系資格試験対策も行います。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

選択科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
基礎日本語Ⅱ	114.0	4	1年次に引き続き、高度な内容の専門科目を理解するため、個々人の日本語のレベルを引き上げるため指導を行います。

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:10 オフィス アプリケーションⅠ	キャリアデザインⅠ	ビジネスマナー	オフィス アプリケーションⅠ	ビジネス日本語Ⅰ
2	10:25 ~ 11:35 日本語Ⅰ	IT基礎Ⅰ	プログラミング基礎	日本語Ⅰ	就職対策Ⅰ
3	11:50 ~ 13:00 IT基礎Ⅰ	ワープロ演習	プログラミング基礎	プログラミング基礎	情報リテラシー
4	13:35 ~ 14:00 基礎日本語Ⅰ	日本語Ⅰ		基礎日本語Ⅰ	IT基礎Ⅰ
5	15:10 ~ 16:25 ~ 16:35 日本語Ⅰ				日本語Ⅰ

■めざせる資格■

▼ITパスポート	▼日本語NAT-TEST
▼情報検定(J検)	▼日本語学力テストQUICK
情報活用試験	▼J.TEST実用日本語検定
▼Java™プログラミング能力認 定試験	▼PJC(実践日本語コミュニ ケーション検定・ブリッジ)
▼ICTプロフィエンス検定試験 (P検)	▼PJC Bridge(実践日本語コミュ ニケーション検定・ブリッジ)
▼日本語ワープロ検定	▼サービス接遇検定
▼情報処理技能検定 表計算	▼実用英語技能検定
▼パソコンスピード認定試験 日本語	
▼日本語能力検定	
▼日本語学力テスト	

国際ビジネス科 (留学生対象)

▶教養コース

1 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
日本語Ⅰ	342.0	12	専門的な学習に対応できる日本語力を養うとともに日本語の各種資格試験対策も行います。
キャリアアップⅠ	57.0	2	英語の基本や日本における一般常識の各分野（日本語、文化、社会）また日本事情についても学びます。
キャリアデザインⅠ	57.0	2	理系分野の基礎事項と一般教養としての時事問題や現代用語、一般常識などを学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
情報リテラシー	28.5	1	パソコンの基本操作からインターネット・電子メールの活用方法、ネット社会におけるモラルやセキュリティについて学びます。
オフィスアプリケーションⅠ	114.0	4	Office2016のWord、Excelを基礎から学びます。
ワープロ演習	57.0	2	ワープロ機能による文章作成の基本を学びます。日本語ワープロ検定、パソコンスピード認定試験 日本語対策も行います。
マーケティングⅠ	57.0	2	自由主義経済社会の市場に関する基礎を学びます。また、日本留学試験「総合科目」の経済分野に関する基礎も学びます。
プレゼンテーション演習Ⅰ	28.5	1	プレゼンテーションソフトPowerPointの学習を基礎から始め、自らの企画を要領よく聞き手に伝える技術について学びます。
ビジネス日本語Ⅰ	57.0	2	ビジネスの現場で求められる日本語を基礎から学びます。他、日本語に関する各種資格試験対策も行います。
総合科目Ⅰ	57.0	2	日本および世界の地理、歴史を基礎から学びます。日本留学試験の「総合科目」に対応できる基礎固めをします。
ビジネスマナー	57.0	2	日本社会で通用する社会人としての礼儀作法や日本独特の習慣などを学びます。より実践的な所作、作法について徹底指導します。
数学Ⅰ	57.0	2	日本留学試験の「数学コースⅠ」に対応できる基礎と応用を学びます。
選択必修科目	57.0	2	1年次の後期から、対策クラスを編成し、個々の学生のスキルを伸ばさせ、また不得意分野を克服できるようにします。

■1年次総授業時数1026 (36単位)

選択必修科目Ⅰ▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
TOEIC試験対策Ⅰ	57.0	2	英語の基礎力が十分にある学生に対し指導します。TOEIC700点を目標に英語力のレベルUPを図ります。
CAD演習Ⅰ	57.0	2	近年、留学生にも求められるスキルの1つにCADがあります。AutoCADの実践的な使い方を学びます。
MOS対策Ⅰ	57.0	2	基本的なPCスキルをマスターした留学生を対象にMOS対策を行い、資格の取得に挑戦します。
日本語試験対策Ⅰ	57.0	2	留学生の就職に必須の日本語能力、主にJLPT対策を行い個々人のレベルを引き上げます。
漢検対策Ⅰ	57.0	2	日本社会で働くにしても、大学に進学するにしても漢字は必須の能力です。漢検に特化した指導を行い個々人のレベルを引き上げます。

2 年次

一般科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
日本語Ⅱ	342.0	12	日本語の四技能をさらに伸ばし、上級レベルの日本語資格の取得をめざします。
企業実務基礎	57.0	2	日本社会で就労する際に必要な労務管理と労務法規について学びます。また簿記会計の基礎も学びます。
キャリアアップⅡ	57.0	2	1年次の基礎をもとに英語及び一般常識の各分野（日本語、文化、社会）また日本事情についても学びます。
キャリアデザインⅡ	57.0	2	1年次の基礎をもとに一般教養としての時事問題や現代用語、更に一般常識について学びます。

専門科目▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
オフィスアプリケーションⅡ	114.0	4	Word、Excelの応用技術とAutoCADの基礎について学びます。
プレゼンテーション演習Ⅱ	28.5	1	1年次の基礎をもとに、主にPowerPointの応用について学びます。
ビジネス日本語Ⅱ	57.0	2	面接時に必要な所作や就活に必要な日本語、更に就労ビザ申請に必要な資料作成などについて学びます。
総合科目Ⅱ	57.0	2	1年次の基礎をもとに「日本留学試験」及び大学での2次試験にも対応できるよう地理・歴史・政治・経済分野の応用を学びます。
マーケティングⅡ	57.0	2	1年次の基礎をもとに更に流通や取引、生産・品質管理、工程管理、在庫管理などの実践的な知識を学びます。
デザイン演習	28.5	1	AutoCADの応用と実践的な図面作成について学びます。
貿易実務	57.0	2	国際貿易の事務処理、資本取引や貿易取引の制限など実践的な知識を学びます。また、日本、母国における起業についても学びます。
数学Ⅱ	57.0	2	1年次の基礎をもとに日本留学試験「数学コースⅡ」や大学2次試験の数学の問題に対応できるよう学びます。
選択必修科目Ⅱ	57.0	2	1年次の後期から引き続き同じ対策クラスで学習を継続し、個々の学生のスキルを伸ばさせ、また不得意分野を克服できるようにします。

■2年次総授業時数1026 (36単位)

選択必修科目Ⅱ▼

科目名	授業時数	単位数	内 容
TOEIC試験対策Ⅱ	57.0	2	1年次のTOEIC試験対策Ⅰでの学習内容をベースにして、TOEIC700点を目標に更なるレベルUPを図ります。
CAD演習Ⅱ	57.0	2	CAD演習Ⅰで学んだことをベースに、より実践的なAutoCADの使い方について学びます。
MOS対策Ⅱ	57.0	2	MOS対策の過去問題を用い、より実践的な資格対策をします。
日本語試験対策Ⅱ	57.0	2	日本語試験対策Ⅰで学んだことをベースにJLPTの他、NAT-TEST対策にも力を入れます。
漢検対策Ⅱ	57.0	2	漢検対策Ⅰでの学習内容の復習から始め、個々の学生のレベルに応じた漢検対策を行います。

■タイムテーブル例■

	月	火	水	木	金
1	9:00 ~ 10:10 オフィス アプリケーションⅠ	キャリアアップⅠ	ビジネスマナー	オフィス アプリケーションⅠ	ビジネス日本語Ⅰ
2	10:25 ~ 11:35 日本語Ⅰ	日本語Ⅰ	数学Ⅰ	日本語Ⅰ	キャリアデザインⅠ
3	11:50 ~ 13:00 総合科目Ⅰ	ワープロ演習	日本語Ⅰ	プレゼンテーション 演習Ⅰ	情報リテラシー
4	12:35 ~ 13:45 日本語Ⅰ				
5	14:00 ~ 15:10 日本語Ⅰ				マーケティングⅠ
6	15:25 ~ 16:35 日本語Ⅰ				日本語Ⅰ

■めざせる資格■

- ▼日本語ワープロ検定
- ▼情報処理技能検定 表計算
- ▼パソコンスピード認定試験 日本語
- ▼パソコンスピード認定試験 英文
- ▼日本漢字能力検定
- ▼日本語力テスト
- ▼日本語NAT-TEST
- ▼日本語力テスト QUICK
- ▼J.TEST実用日本語検定
- ▼PJC(実践日本語コミュニケーション検定)
- ▼PJC Bridge(実践日本語コミュニケーション検定・ブリッジ)
- ▼サービス接遇検定
- ▼実用英語技能検定
- ▼秘書検定
- ▼日商簿記検定
- ▼電卓技能検定試験
- ▼コミュニケーション検定



学校法人 日本コンピュータ学園

東北電子専門学校